

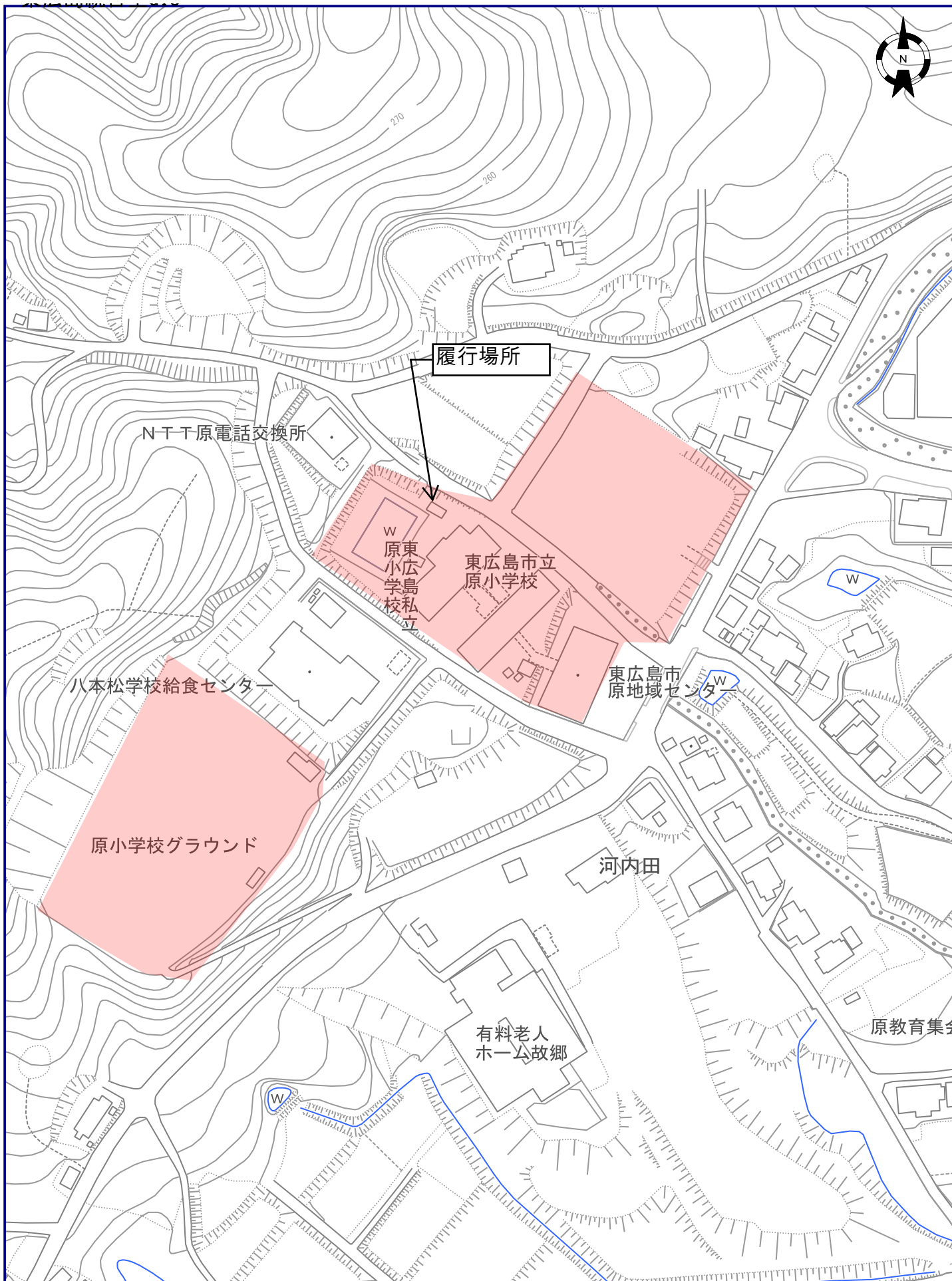
令和8年度

小学校施設整備事業

原小学校長寿命化改良基本計画策定業務

仕様書

施 工 場 所 東広島市八本松町原



1/2500





設計業務等委託料

令和8年度 小学校施設整備事業

原小学校長寿命化改良基本計画策定業務

細目	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
直接人件費						
基本計画策定業務		1	式			
諸経費						
基本計画策定業務		1	式			
技術料等経費						
基本計画策定業務		1	式			
特別経費		1	式			
現地調査費		1	式			
RIBC使用料		1	式			
地質調査費		1	式			内訳別紙明細書参照
高所作業車		1	式			
外壁調査費		1	式			
アスベスト調査費		1	式			
はつり調査費		1	式			
小計						
業務価格		1	式			千円未満切捨て
消費税等相当額		1	式			10%
設計業務等委託料		1	式			

令和8年度 小学校施設整備事業
原小学校長寿命化改良基本計画策定業務

地質調査費内訳別紙明細書

地質調査業務 機械ホ-リング13m x 2箇所 スクリューウェイト貫入試験10m x 5箇所

名称	仕様		数量	単位	単価	金額	備考
① 間接調査費	足場仮設費 平坦足場	当初	2	箇所			
		変更					
② 直接調査費	機械ホ-リング 砂・砂質土 φ66	当初	26	m			
		変更					
	標準貫入試験 砂・砂質土	当初	26	回			
		変更					
	スクリューウェイト貫入試験	当初	50	m			
		変更					
	土粒子の密度試験	当初	2	資料			
		変更					
	小計	当初					
		変更					
③ 印刷製本費等	印刷製本費	当初	1	式			
		変更					
	施工管理費	当初	1	式			
		変更					
④ 検定費		当初	2	本			
		変更					
⑤ 諸経費		当初	1	式			
		変更					
合計	①+②の小計+③+④+⑤	当初					
		変更					

設計業務委託特記仕様書

1. 業務名称

令和 8 年度 小学校施設整備事業
原小学校長寿命化改良基本計画策定業務

2. 履行場所

東広島市 八本松町原

3. 技術者

次の資格を有する管理技術者及び担当技術者を定めること。

(1) 管理技術者

- 管理技術者の資格要件は、建築士法（昭和25年法律第202号）による一級建築士（以下「一級建築士」という）で資格取得後、建築設計に関し実務経験8年以上有する者とする。

(2) 担当技術者

- 担当技術者（意匠）の資格要件は、一級建築士で資格取得後、建築設計に関し実務経験3年以上有する者とする。
- 担当技術者（構造）の資格要件は、次のいずれかの資格を有する者とする。
 - 建築構造士（（一社）日本建築構造技術者協会による資格認定）
 - 建築士法（昭和25年法律第202号）による構造設計一級建築士
- 担当技術者（設備）の資格要件は、次のいずれかの資格を有する者とする。
 - 建築士法施行規則（昭和25年建設省令第38号）による建築設備士
 - 建築士法（昭和25年法律第202号）による設備設計一級建築士
 - 設備設計に関し実務経験9年以上有する者

(3) その他

- 管理技術者及び担当技術者（意匠）（構造）（設備）は、受注者と直接雇用関係のある者とする。
- 担当技術者（意匠）（構造）は、要件を満たす場合、兼ねることができる。
- 管理技術者及び担当技術者（意匠）（構造）（設備）は、要件を満たす場合であっても、兼ねることができない。

4. 建物概要

(1) 敷地概要

敷地面積: 4,813㎡

用途地域: 市街化調整区域

防火指定: 法22条区域

(2) 建物概要

用途: 小学校（令和6年国土交通省告示第8号 別添二 第七号 第1類）

【改修建物】

校舎① 鉄筋コンクリート造 3階建 延床面積A=1,319㎡ 昭和56年竣工

校舎② 鉄筋コンクリート造 3階建 延床面積A=54㎡ 昭和56年竣工

校舎③ 鉄筋コンクリート造 4階建 延床面積A=1,778㎡ 昭和56年竣工

【増築建物】

EV棟及び多目的トイレ 1棟 4階建 延床面積120㎡程度 構造未定

5. 業務内容

(1) 現地調査

- ・外壁等劣化調査 改修建物全てが対象（高所作業車による）
- ・はつり調査 12か所（1棟につき4か所（柱頭 1、柱脚 1、梁 2））
（鉄筋のかぶり厚さ測定、コンクリートの中酸化深さ測定、鉄筋腐食度調査 共）
- ・アスベスト含有分析調査 9検体（JIS A 1481-1による定性分析を行う）
- ・設備配管等の現地調査
- ・地質調査（標準貫入試験 13m×2か所、スクリュウウェイト貫入試験 10m×5か所）
（土の粒度試験、液状化判定を含む）

(2) 事業内容の検討

(2-1) 既存建物および設備の改修方法・範囲の比較検討

（1）現地調査結果をもとに長寿命化改良の工法及び施工範囲について比較検討を行うこと。

(2-2) EV棟・多目的トイレ棟増築規模及び配置の比較検討（3案程度）

EV棟・多目的トイレ棟の増築規模及び位置について比較検討を行うこと。

(3) 工事前仮設校舎及び仮設計画

長寿命化改修工事に伴い、円滑に学校運営が行えるよう、仮設校舎を含めた仮設計画を検討すること。

仮設校舎の位置は運動場1を想定している。

(3-1) 増築EV棟・多目的トイレの配置計画及び仮設校舎の建設が最小限で実施可能な仮設計画の比較検討（3案程度）

余裕教室の転用も視野に入れた棟毎の改修など、施設運営や経済性の観点などから仮設校舎の規模や位置などの検討を行うこと。（キープラン程度の概略図作成を含む）

(3-2) 工事期間中の動線計画の作成

仮設校舎の建設時から、工事完了までの間の、先生・児童・保護者等の利用者動線及び工事車両等の動線計画を作成すること。

(3-3) 工事期間中の設備切替計画の検討

仮設校舎の建設・運用時から工事完了までの間、施設運営への支障が最小限となる設備の切替計画を検討すること。

(3-4) 仮設校舎リースの発注仕様書作成

仮設校舎については、本工事とは別途リース契約を行う予定である。仮設校舎リースの発注にかかる仕様書及び参考図面（配置図、設計概要、仕上表、平面図、立面図、断面図、撤去図、仮設図など）を作成すること。

(4) 概算事業費と概略工程

(4-1) 本工事及び仮設校舎リースの概算事業費の算出

事業実施検討を行うことを目的に、本工事及び仮設校舎の概算事業費を算出すること。

仮設校舎については、(3-4)に基づき、3者見積を徴収し、概算事業費の精査を行うこと。

(4-2) 事業全体の概略工程の検討

仮設校舎リースから本工事の完了引渡までの概略工程を検討すること。

(5) (2)、(3)以外の建築物の改修に係る基本設計

- ・既存建築物（改修建物含む）の法適合設計（必要な場合のみ）

(6) (2)、(3)、(5)に伴う外構基本設計

- ・植栽、石碑等の撤去設計
- ・校舎棟の増築に影響する外構撤去設計
- ・外構劣化部の更新設計

(7) (2)、(3)、(5)、(6)に伴う電気・機械設備基本設計

- ・水道、電気、ガス管等のライフラインの更新設計ほか
- ・排水（雨水・汚水・雑排水・処理施設等）の更新設計ほか

(1) 基本設計

① 一般業務

- 建築設計
- 電気設備設計
- 機械設備設計
- 概算工事費算出

② 追加業務

- 概略工事工程表作成
- 鳥瞰図作成
- 現地調査
- 敷地測量（レベル管理）
- 地質調査
- アスベスト調査
- 既存不適格調査

(2) 手続き

① 手続き業務

- 計画通知手続き
- 構造計算適合性判定手続き
- 建築物省エネ法手続き
- バリアフリー法手続き
- 官公署諸手続き

6. 設計基本コンセプト

- 経済性、施工性、維持管理の容易性、機能性、耐久性及び工事費等を考慮の上、最も効果的な改修計画（工法・対策）を立案すること。
- 学校及び地域センターを運営しながらの工事となるため、動線計画・騒音・振動対策に配慮し、工程計画及び十分な安全対策が確保できる仮設計画を立案すること。
- 既存建築物における既存不適格事項の把握などの建築基準法・消防法等の関係法令への抵触事項を報告し、改善が必要な場合は適及検討するとともに、改修計画を立案すること。

7. 共通事項

- (1) 本特記仕様書（以下「特記仕様書」という）に記載されていない事項は、「公共建築設計業務委託共通仕様書（最終改定 令和6年3月26日付、国営整第213号）」による。
- (2) 設計は、関係法令の規程や諸基準を遵守すること。
- (3) 工事場所の気象条件、周辺環境を考慮し、設計を行うこと。
- (4) 設計に先立ち、現地調査等を入念に行うこと。
- (5) 建物形状、仕様、構造、工法については多面的に検討し、建設コスト及び維持管理コストの削減に努めること。
- (6) 設計に際しては、調査職員（又は関係部局）と十分な連絡調整を行い、設計条件の明確化を図ること。
- (7) 設計図書の作成は、別紙「委託範囲及び設計書作成要領」によることとし、原則として特定の製品製造所名は記載してはならない。
- (8) 業務を履行する上で、設計の一部に対し第三者の協力を得る場合（地質調査業務等）には、あらかじめ委任（下請負）承認願を提出し承諾を得ること。
- (9) 改修工法は、「公共建築改修工事標準仕様書（最新版）」を参考に、施設の利用状況を考慮し選定すること。
- (10) 建築と電気・機械との設計内容の調整及び確認を行うこと。
 - (11) 業務着手にあたり、業務実施工程表及び業務実施計画書を提出し、調査職員の承諾を得ること。
 - (12) 概算工事費は、社会情勢等を十分に考慮し、算出すること。
- (13) 「労働安全衛生法施行令」に規定されている石綿等（アスベスト含有建材等）については、その有無、種類及び数量を入念に調査すること。石綿等が使用されている場合、又は疑わしい材料が使用されている場合は、使用部位、材料名、数量、厚さ等を調査し、定性分析後定量分析を行うこと。また、アスベスト含有建材使用撤去物として仕上表に明記し、工事費概算に反映すること。
- (14) 業務実施工程表作成にあたっては、市の検討期間を十分に考慮し、履行期間内に業務を完了させるように、検討すること。また、各検討期間に時間を要した場合は、適宜実施工程表を見直し、増員等で対応すること。
- (15) 設計に先立ち、改修建物、既存設備及び敷地内の工作物等の現地調査を十分に行い、既存図との整合確認を行うこと。また、現地調査については、事前に学校施設管理者及び調査職員と協議した上で、施設運営に支障のないよう行うこと。
- (16) その他、調査職員の指示により、業務遂行に必要な資料収集、提案を行うこと。
- (17) 現地の既存配管・配線（埋設配管含む）の配置、高さ、深さ、種別等の現地調査を行うこと

8. 個別事項

- (1) 本業務の概要は本特記仕様書5.業務内容に示すほか、長寿命化改良事業等の概要については、「公立学校施設整備事務ハンドブック（公立学校施設法令研究会編著 第一法規）最新版」を参照のこと。
- (2) 長寿命化改良事業における補助申請時に「鉄筋のかぶり厚さの平均値」を提示する必要があることから、本業務で調査し令和8年10月30日までに報告すること。なお、調査方法については、「公立学校建物の耐力度調査説明書（最新版）」の記載内容に準じて行うこと。そのほか、文部科学省による補助事業として必要な設計図書等を調査職員の指示により作成すること。なお、本業務においてはつり調査を12か所を見込んでいる。
- (3) 校舎棟の長寿命化改良においては、教室等の再配置及び屋内外の全面的な改修、既存設備一式の更新を想定している。EV棟や多目的トイレの増築計画を含め、壁・耐震ブレース等の撤去・移設を行う場合には、構造検討等を行い、工事後も耐震性能が確保できることを確認すること。教室等の再配置については本業務で協議のうえ決定するものとする。
- (4) 本業務の対象建物の渡り廊下が開放廊下となっているため、屋内化を本業務において検討及び提案を行うこと。また、構造検討等を行い、工事後も耐震性能が確保できることを確認すること。
- (5) 増築棟の構造は未定であり、本特記仕様書記載の諸条件を踏まえ、本業務において検討の上、決定するものとする。
- (6) 現地調査を入念に行い現地と既存図が整合しているかの確認を行い、設計図書を作成すること。
増築棟及び既存校舎の改修部分の省エネについては、ZEB Oriented 相当の仕様を想定し設計に反映すること。
- (7) ZEB Oriented 相当の定義：創エネルギー（再生可能エネルギーに伴う一次エネルギー消費量の削減分）を含めた値
- (8) 増築棟及び既存校舎の改修部分については、車いす利用者の利用を考慮し、必要な箇所は段差解消を行うこと。
- (9) 水道、電気、ガス等のライフラインの更新や基礎等の埋設部分について、既存図面で判断できない場合は、必要に応じて掘削等を行い、確認を行うこと。
- (10) 建築物の外壁劣化調査は高所作業車による調査を見込んでいる。高所作業車により調査できる部分についてはテストハンマーによる打診等により確認し、その他の部分は必要に応じて双眼鏡等を使用し目視により確認し、異常が認められた場合にあっては、落下により歩行者等に危害を加えるおそれのある部分を全面的にテストハンマーによる打診等により確認すること。なお、本業務において高所作業車はオペ付きかつ8日を見込んでいる。
- (11) 改修設計を行う際、過去に施工済みの耐震補強評価書の内容に変更が生じないよう検討及び提案を行うこと。
- (12) アスベスト調査については、試験体の採取前に図面及び現地にてアスベスト含有の可能性のある部分についての報告を行うこと。現地調査にて、追加調査が必要な箇所が判明した場合は、事前に協議を行うこと。
- (13) 敷地測量データがないため、工事に影響のない構造物又は工作物等にKBMを設定しレベル管理を行うこと。
なお、レベル測定は一般業務に含むものとする。
- (14) 5.業務内容(5)の既存建築物とは増築建物及び改修建物以外の学校敷地内に存在するすべての建築物である。
(屋内運動場、プール棟、屋外倉庫など)
- (15) 校舎棟の長寿命化改良工事に際しては、既存校舎の機能を一式又は棟毎に仮設校舎（別途工事で建設）へ移す想定をしてい
る。なお、その他の既存施設（屋内運動場、プール棟、グラウンド等）については、本工事期間中も学校等の利用を想定している。工事期間中の停電・断水等による、学校運営への影響を最小限に抑えることのできる改修等計画及び工程計画を立案すること。
- (16) 工事予算確保のため、令和8年10月30日までに仮設校舎リースの概算事業費、長寿命化改良工事全体の概略工事工程表を提出すること。なお、工程表作成の際には、学校行事の影響など十分に留意すること。
- (17) 設計業務内で、調査職員指示の項目については、検討項目を定め、比較検討資料を作成し設計を進めること。
- (18) 必要に応じ、改修建物に太陽光パネル設置検討を行うこと。

9. 提示図書

		形態	ファイル形式
(1)	昭和56年度 原小学校増改築工事 竣工図	製本	-
(2)	昭和55年度 原小学校増改築設計業務 構造計算書	製本	-
(3)	平成21年度 小学校大規模改造事業 原小学校配膳室棟⑨耐震補強工事 竣工図	CADデータ	JWW
(4)	H24年度 小学校大規模改造事業 原小学校校舎(8)(10)耐震補強工事 竣工図	CADデータ	JWW
(5)			
(6)			

10. 提出図書

【成果品】

<input type="checkbox"/>	基本設計図書 ● 計画概要 ● 配置計画（計画概要 設計条件） ● 平面計画（計画概要 設計条件 面積表 法チェック） ● 立面計画（設計条件 法チェック） ● 構造計画（構造概要 構造計画） ● 地質調査（地業概要 地業計画 地業工法比較） ● 測量調査（レベル調査結果） ● 電気設備計画（諸元表 設備容量計算） ● 機械設備計画（諸元表 設備容量計算） ● バリアフリー計画 ● 省エネ計画 ● 現地調査報告書（5. 業務内容 参照） ● 事業内容の検討結果（5. 業務内容 参照） ● 工事前仮設校舎及び仮設計画検討結果（5. 業務内容 参照） ● 概算事業費と概略工程（5. 業務内容 参照） ● 各計画比較検討書 ● 官公庁協議資料 ● 仮設校舎リースの発注仕様書（参考図面含む） ● その他調査職員が指示するもの	2 部 ※パイプ式ファイルで提出すること CD-Rは1部提出
--------------------------	--	-----------------------------------

【事務書類】

<input type="checkbox"/>	管理技術者及び調査技術者選任（変更）通知書	1 部
<input type="checkbox"/>	業務実施工程表	2 部 ※正副
<input type="checkbox"/>	業務実施計画書	2 部 ※正副
<input type="checkbox"/>	業務履行報告書	1 部 ※毎月月初めに提出すること
<input type="checkbox"/>	業務打合せ簿	2 部 ※正副
<input type="checkbox"/>	貸与品借用（返納）書	1 部
<input type="checkbox"/>	委任（下請負）承認願	1 部 ※必要に応じて
<input type="checkbox"/>	見積依頼先名簿届	1 部 ※見積依頼を行う前までに提出すること
<input type="checkbox"/>	業務完了通知書	1 部
<input type="checkbox"/>	引渡書	1 部 ※業務完了検査結果通知書の発行後提出
<input type="checkbox"/>	その他調査職員が指示するもの	必要部数

※ 実施設計図書について、1つのパイプ式ファイルに収まらない場合は、分冊すること。

※ 実施設計図書は、インデックス等を使用し、わかりやすく整理すること。

※ CD-Rは、パイプ式ファイルに収納できること。（CDケースをパイプ式ファイルと別にしないこと）

※ 原図への設計者押印は不要とする。

※ 見開きA3版製本、A3綴じ込み折り及びA3平綴じについて提出する場合は検査日までに各1部ずつ提出し、工事発注前後に調査職員より連絡があり次第残り部数を納品すること。

11. 設計基準

【建築設計】

- 建築工事設計図書作成基準及び参考資料（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修最新版）
- 建築設計基準及び参考資料（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修最新版）
- 建築構造設計基準及び参考資料（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修最新版）
- 建築鉄骨設計基準及び同解説（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修最新版）
- 建築改修設計基準（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修最新版）
- 官庁施設の総合耐震・対津波計画基準（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修最新版）
- 構内舗装・排水設計基準（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修最新版）
- 公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修最新版）
- 公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修最新版）
- 建築工事標準詳細図（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修最新版）
- 高齢者、障害者等の円滑な移動等に配慮した建築設計標準
（編集 国土交通省、発行 人にやさしい建築・住宅推進協議会国土交通省大臣官房官庁営繕部監修最新版）

【建築積算】

- 公共建築工事積算基準（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修最新版）
- 公共建築工事積算基準の解説／建築工事編（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修最新版）
- 建築数量積算基準・同解説（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修最新版）
- 公共建築改修工事の積算マニュアル（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修最新版）
- 広島県営繕工事内訳書作成要領（建築工事編）（最新版）
- 東広島市営繕工事内訳書作成要領（最新版）

【設備設計】

- 建築設備設計基準（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修最新版）
- 建築設備計画基準（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修最新版）
- 建築設備耐震設計・施工指針（国土交通省住宅局建築指導課）
- 官庁施設の総合耐震・対津波計画基準（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修最新版）
- 公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修最新版）
- 公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修最新版）
- 公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修最新版）
- 公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修最新版）
- 公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修最新版）
- 公共建築設備工事標準図（電気設備工事編）（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修最新版）
- 広島県水道広域連合企業団水道事業の給水及び水道用水供給事業の供給に関する条例
- 東広島市水道事業における給水装置等の設計施工事務取扱要綱（広島県水道広域連合企業団）
- 東広島市公共下水道条例
- 東広島市公共下水道排水設備要綱（東広島市）

【設備積算】

- 公共建築工事積算基準（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修最新版）
- 公共建築工事積算基準の解説／建築工事編（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修最新版）
- 建築設備数量積算基準・同解説（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修最新版）
- 公共建築改修工事の積算マニュアル（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修最新版）
- 広島県営繕工事内訳書作成要領（建築工事編）（最新版）
- 東広島市営繕工事内訳書作成要領（最新版）

【地質調査】

- 敷地調査共通仕様書（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修最新版）

【井戸調査】

- 地質・土質調査業務共通仕様書（広島県制定最新版）

12. その他

- (1) 各提出資料の書式等については、調査職員と協議すること。
- (2) 工事費内訳明細書（金入り）は、（財）建築コスト管理システム研究所の内訳書作成システムによる内訳書ファイルにより提出すること。
- (3) 設計図は原則CADで作成し、データを提出のこと。
 - ① 成果品として提出するファイル形式は、原則としてJW-WIN（最新版）とする。
 - ② JW-WIN以外の場合とするときは、JW-CAD形式若しくはDXF形式にて提出してもよい。ただし、JW-WINにてデータが完全に互換できなければならないものとする。
 - ③ データ納入の際には、必ずその時点での最新パターンを利用したウィルスチェックをすること。
 - ④ 設計図データは全て縮小率を記入すること。
 - ⑤ 既存図面の活用化については、調査職員と協議を行うこと。
 - ⑥ 環境設定ファイルを同封すること。
- (4) 設計原図をPDFデータ化する場合の解像度は指定しないが、解読不能や文字化けなどの不良がないこと。

委託範囲及び設計書作成要領 (建築工事)

基本設計	設計資料		調査研究企画報告書		
		○	関連技術資料書		
		○	各種法令手続きのための技術資料の作成		
	設計図書	総合	○	比較検討説明書	
			○	仕様計画概要書	
			○	仮設工程表	
			○	面積及び求積表	
			○	敷地案内図	
			○	配置計画図	
			○	平面(各面)及び動線計画図	
			○	断面計画図	
			○	立面計画図	
			○	矩計図(主要部詳細図)	
		構造	○	構造計画概要書及び仕様概要書	
			○	構造計画書	
積算	○	工事費概算書			
	○	工事日程計画書			
実施設計	仕様書	共通仕様書	仕様書の指定及び一般的事項		
		特記仕様書	特に指定、指示する事項及び共通仕様書に準拠しない事項		
		手続き			
	総合 一般図	工事概要		工事名称、工事場所、建物規模、工事範囲の明記	
		面積表			
		仕上表			
		敷地案内図			
		仮設計画図	1/250・1/500		
		配置図	1/250・1/500		

実施設計	総合	一般図	平面図	1/100・1/200		
			立面図	1/100・1/200		
			断面図	1/50・1/100	必要な場合	
			各伏図	1/100・1/200	必要な場合	
			建具位置図	1/100・1/200	小規模建物は、平面図に併記してよい。	
			建具表	1/50・1/100	記入順序は、積算要領による。	
			外構図		必要な場合	
			日影図			
			詳細図	矩計図	1/30・1/50	
				展開図	1/30・1/50	詳細図と兼ねてよい
	平面詳細図	1/30・1/50		下階から上に追う		
	部分詳細図	1/30・1/50				
	基礎伏図	1/100・1/200				
	杭伏図	1/100・1/200		基礎伏図に併記してよい。		
	構造図	構造	各階構造伏図	1/100・1/200		
			柱リスト	1/30・1/50		
			梁リスト	1/30・1/50		
			架構図	1/30・1/50	必要な場合	
			床版リスト、配筋図	1/30・1/50	必要な場合	
			階段、壁リスト	1/30・1/50	必要な場合	
雑配筋図			1/30・1/50	必要な場合		
敷地調査図						
計算書			構造計算書			
積算	総合					

実施設計	積算	構造	
	設備との調整	電気設備	官公署諸手続き(確認申請、消防設備計画書)等に伴う建築士のチェック及び押印を含む。
		機械設備	

備考	
1	改修前後を対比した図面を作成すること。
2	建築、電気設備、機械設備との工事区分を明確に表現すること。
3	現地状況を考慮した仮設計画図・概略工事工程表を作成すること。
4	設計図の作成は、おおむね上表によるものとする。ただし、建物内容及び図面構成に応じて併記してよい。
5	この表にないもの又はこの表によることが適当でないものは、適宜補正してかまわない。
6	図面の大きさは、A2版を標準とする。
7	各図面の縮尺については、記載縮尺を標準とする。ただし、建物内容及び図面構成に応じて適宜補正してかまわない。
8	
9	
10	

委託範囲及び設計書作成要領 (電気設備工事)

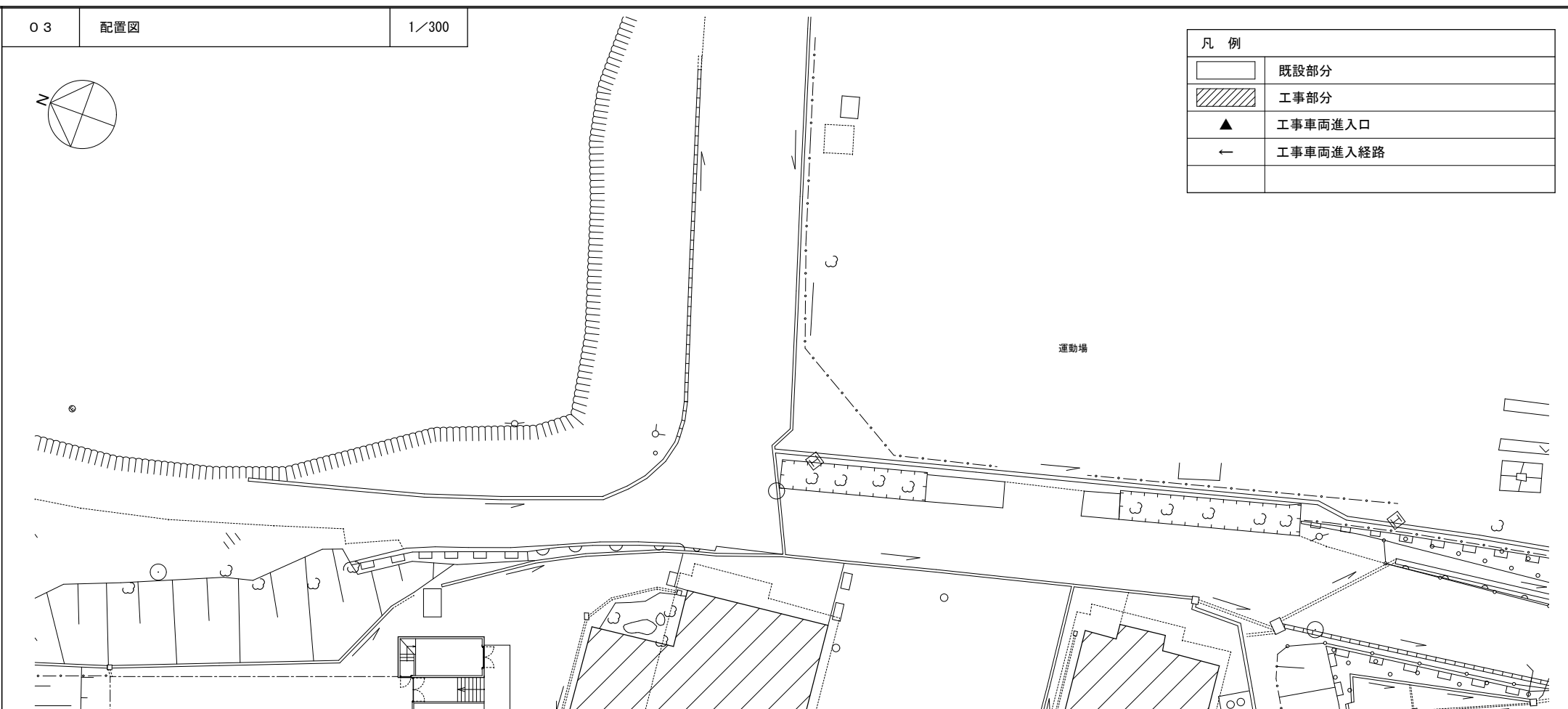
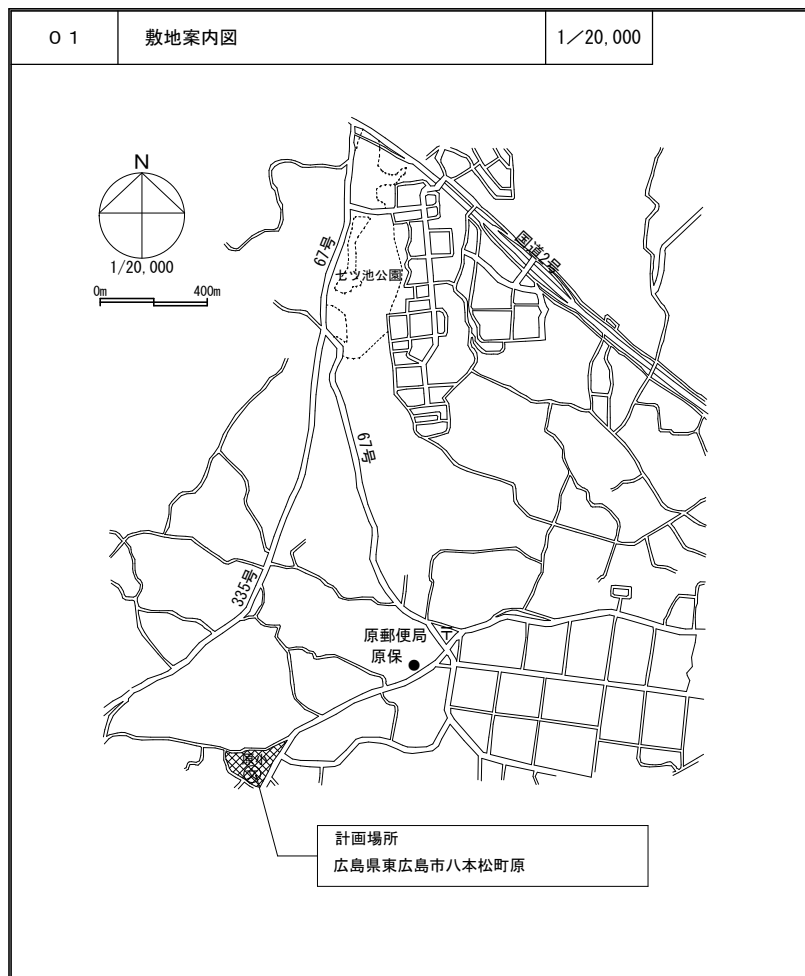
基本設計	積算資料	○ 調査研究企画報告書		
		○ 関連技術資料書		
		○ 各種法令手続きのための技術資料の作成		
	設計図書	○ 改修計画説明書		
		○ 電気設備計画概要書		
		○ 仕様概要書		
		○ 各種技術資料		
		○ 工事費概算書		
		○ 工事日程計画書		
		○ 共通仕様書	仕様書の指定及び一般的事項	
実施設計	仕様書	特記仕様書	特に指定、指示する事項及び共通仕様書に準拠しない事項	
		手続き		
		工事概要		
	設計図書	敷地案内図		・既設 ・改修 ・新設
		配置図		
		受変電設備図		・既設 ・改修 ・新設(必要な場合)
		自家発電設備図	1/100・1/200	・ディーゼル ・ガスタービン
			結線図、機器配置図、仕様	1/30・1/50
		蓄電池設備図	1/100・1/200	・非常用 ・受変電用 ・弱電用
		幹線系統図	〃	
		電灯設備配置図	〃	
		照明器具姿図	〃	・国土交通省仕様による。
		分電盤回路図、姿図	〃	
		動力設備配線図	〃	
		制御盤、操作盤回路図、姿図	〃	
		電話設備	〃	・交換機 ・電話機
		警備設備	〃	
		火災報知設備	〃	・既設 ・改修 ・新設
防犯設備	〃	・機器設置 ・空配管		

実施設計	設計図	TV共同受信設備	〃	・一般 ・BS ・CS ・ITV	
		電気時計設備	〃	・電気式 ・10年電池式	
		拡声設備	〃	・非常用 ・全館 ・個別	
		出退表示設備	〃		
		インターホン設備	〃		
		構内情報通信網設備	〃		
		中央監視設備	〃		
		避雷針設備	〃		
		構内外灯	〃		
		計算	設計計算	受電	電圧降下
積算	積算明細書の作成 数量算出書				
その他	電波障害調査(概算費用を含む)				
備考	備考				
	1	改修前後を対比した図面を作成すること。			
	2	建築、電気設備、機械設備との工事区分を明確に表現すること。			
	3	現地状況を考慮した仮設計画図・概略工事工程表を作成すること。			
	4	設計図の作成は、おおむね上表によるものとする。ただし、建物内容及び図面構成に応じて併記してよい。			
	5	この表にないもの又はこの表によることが適当でないものは、適宜補正してかまわない。			
	6	図面の大きさは、A2版を標準とする。			
	7	各図面の縮尺については、記載縮尺を標準とする。ただし、建物内容及び図面構成に応じて適宜補正してかまわない。			

委託範囲及び設計書作成要領 (機械設備工事)

基本設計	積算資料	○ 調査研究企画報告書		
		○ 関連技術資料書		
		○ 各種法令手続きのための技術資料の作成		
	設計図書	○ 改修計画説明書		
		○ 給排水衛生設備計画概要書		
		○ 空調換気設備計画概要書		
		○ 仕様概要書		
		○ 各種技術資料		
		○ 工事費概算書		
		○ 工事日程計画書		
実施設計	仕様書	共通仕様書	仕様書の指定及び一般的事項	
		特記仕様書	特に指定、指示する事項及び共通仕様書に準拠しない事項	
		手続き		
	設計図書	機械器具一覧表(昇降機設備、し尿浄化槽等含む)	①	冷暖房空調工事は出来るだけ一枚にまとめる。
			②	主要機器については、構造、寸法、能力、動力数量、制御方式、設置場所、附属品、仕様等を明記する。
		工事概要		
		敷地案内図		
		配置図	1/200~1/500	屋外配管図、勾配図を併記してもよい。
		各階平面図	1/100~1/200	原則として各階ごとに原図1枚とし特に1階は屋外配管、別途工事等の関係を明確にする。

実施設計	設計図	各部詳細図	1/20~1/50			
		配管ダクト系統図		主要配管、ダクト等の系統を明確に表現する。		
		動力操作盤		① 特に電気工事との施工区分を明確にする。		
		自動制御計測図		② 自動制御の目的、方法等を空白部に箇条書きする。		
		設計	設計計算			
		積算	積算明細書の作成			
		備考				
		1	改修前後を対比した図面を作成すること。			
		2	建築、電気設備、機械設備との工事区分を明確に表現すること。			
		3	現地状況を考慮した仮設計画図・概略工事工程表を作成すること。			
4	設計図の作成は、おおむね上表によるものとする。ただし、建物内容及び図面構成に応じて併記してよい。					
5	この表にないもの又はこの表によることが適当でないものは、適宜補正してかまわない。					
6	図面の大きさは、A2版を標準とする。					
7	各図面の縮尺については、記載縮尺を標準とする。ただし、建物内容及び図面構成に応じて適宜補正してかまわない。					



02 工事概要

■ 工事名称・その他

工事名称	平成24年度 小学校大規模改造事業 原小学校校舎(8)(10)耐震補強工事(建築)
建築用途	主用途 小学校
建築地	住所 東広島市八本松町原
工事種別	新築・増築・別棟増築・改築・改修 耐震改修・用途変更・大規模の模様替 移転・仮設建築・取りこわし・模様替

■ 構造・規模

校舎(8)	構造・規模	RC造 3階	延床面積	1,319.00㎡	建築年次	S 56年
校舎(10)	構造・規模	RC造 4階	延床面積	1,778.00㎡	建築年次	S 56年

■ 工事内容

校舎(8)	1. 耐震補強改修工事	構造・規模: 鉄筋コンクリート造 3階建	延床面積: 1,319 ㎡	文科省面積: 1,319 ㎡
該当部位: 外部、一部内部(下記に伴う補修)				
工事内容: ・耐震補強改修1 1階 Y0通り 鉄骨ブレース補強 ・耐震補強改修2 2・3階 Y0通り 鉄骨ブレース補強 ・耐震補強改修3 耐震スリット新設 4ヶ所				
2. 便所改修工事				
校舎(10)	1. 耐震補強改修工事	構造・規模: 鉄筋コンクリート造 4階建	延床面積: 1,778 ㎡	文科省面積: 1,778 ㎡
該当部位: 外部、一部内部(下記に伴う補修)				
工事内容: ・耐震補強改修4 1~3階 Y7通り 鉄骨ブレース補強 ・耐震補強改修5 1・2階 Y9通り RC壁新設 ・耐震補強改修6 1階 X3通り RC壁新設 ・耐震補強改修7 2階 X3通り RC壁新設 ・耐震補強改修8 耐震スリット新設 9ヶ所				

共 通 事 項 (特記なき限り下記とする。)					凡 例					凡 例					
改修	1. 本工事に伴って仮設養生に伴う既存建物への痕跡は、請負者の責任において現状復旧すること。				塗料	適用	表示略号	名 称	備 考	床材	区分	表示略号	名 称	備 考	
	2. 特記なき改修部の木、鉄部、垂鉛めっき面の見え掛り部分はSOP塗とする。					○	SOP	合成樹脂調合ペイント塗り			○	ビニル床タイル	コンポジション床タイル t=2.0 CT 半硬質		
	3. 一般鉄部錆止めは、屋外A種、屋内B種とし、工場・現場各1回塗りとする。					○	CL	クリヤック塗り			○	ビニル床シート	織布積層ビニル床シート NC t=2.5 マーブル(熱溶接工法)		
	4. 外部鉄骨ブレースは、鉄鋼面に錆止め塗装A種を経て耐候性塗料塗りとする。						FE	7フル酸樹脂エマルジョン塗り				防滑性ビニル床シート	不織布積層ビニル床シート NF t=2.0 UV樹脂塗装(熱溶接工法)		
	5. 既設モルタル塗り面の仕上塗材塗り仕上げ等を改修する場合の既存塗膜の一部除去の工法はサンダー工法とする。						NAD	7フル酸樹脂系非水分散形塗料塗り				耐薬品性ビニル床シート	不織布積層ビニル床シート NF t=2.0(熱溶接工法)		
	6. 鉄骨ブレース周囲の無収縮モルタル部分の仕上は、図示してある仕上で表・裏の見え掛り部分全てとする。						AE	7フル酸樹脂エマルジョン塗り			○	ビニル幅木	ルーフパイル t=6.5		
	7. 可とう形改修塗材Eを新設する前に、既存外壁面の水洗い(高圧ホース10~15Mpa程度)を行うこと。						DP-3	耐候性塗料塗り:2液形ホリケレンエマルジョン塗り				木製幅木	米つが H=100(塗装別途図示)		
							DP-2	耐候性塗料塗り:7フル酸樹脂エマルジョン塗り				石幅木	大理石 20×150 本磨き(模様は既存あわせとする。)		
							○	DP-1	耐候性塗料塗り:常温乾燥形ふっ素樹脂エマルジョン塗り				外装床タイル	磁器質100角タイル 無釉 t=8 圧着張り	
							○	EP-G	つや有り合成樹脂エマルジョンペイント塗り			壁・天井材	区分	表示略号	名 称
					○	EP	合成樹脂エマルジョンペイント塗り			壁紙	抗菌、防カビ、汚れ防止、AAランク				
					○	EP-M	多彩模様塗料塗り			外装壁タイル	磁器質二丁掛 平227×60 施釉 t=13 改良圧着張り				
					○	EP-T	合成樹脂エマルジョン模様塗料塗り			内装壁タイル	陶器質100角タイル 施釉 t=5 接着剤張り				
					○	UC	ウレタン樹脂ニス塗り		防水材・屋根材	○	ビニル床シート		織布積層ビニル床シート NC t=2.0 マーブル(熱溶接工法)		
					○	OS	オイルステイン塗り			区分	表示略号		名 称	備 考	
					○	マスチックA	マスチック塗料塗り A種				保護7フル酸防水		7フル酸防水 屋根保護防水密着工法<A-1>		
					○	マスチックB	マスチック塗料塗り B種						保護コンクリート:t=80 伸縮目地 @3000程度、溶接金網φ100×100		
					○	マスチックC	マスチック塗料塗り C種				露出7フル酸防水		7フル酸防水 屋根露出防水絶縁工法<D-1>		
					○	撥水塗料	超撥水超耐候形特殊7フル酸変性樹脂塗料	エコー化研株式会社 7フル酸ペイント 参考品			○		改質7フル酸シート防水	改質7フル酸シート防水 屋根露出防水密着工法(トーチ工法)<AS-2>	
				吹付け材料	適用	表示略号	名 称	備 考			○	塗膜防水	ウレタン系塗膜防水<X-2>		
						○	外装薄塗材Si	薄付け仕上塗材 外装けい酸質系				○	脱気システム	ステンレス製	
						○	可とう形外装薄塗材Si	薄付け仕上塗材 可とう形外装けい酸質系				○	シーリング	適用は、公共建築標準仕様書 平成22年版 表9.6.11による。	
						○	外装薄塗材E	薄付け仕上塗材 外装合成樹脂エマルジョン系		エコー化研株式会社 7フル酸ペイント 参考品	ドレイン	区分	表示略号	名 称	備 考
						○	外装薄塗材E<石調>	薄付け仕上塗材 外装合成樹脂エマルジョン系 陶石状仕上げ				改修用ドレイン	改修用7フル酸ドレイン		
						○	防水形外装薄塗材E	薄付け仕上塗材 防水形外装合成樹脂エマルジョン系				RD	鋳鉄製7フル酸ドレイン		
						○	外装薄塗材S	薄付け仕上塗材 外装合成樹脂溶液系				CD	鋳鉄製コーナードレイン		
						○	内装薄塗材C	薄付け仕上塗材 内装セメント系				BD	鋳鉄製バルコニードレイン		
						○	内装薄塗材L	薄付け仕上塗材 内装消石灰・ドロマイト・ラスター系				ReD	鋳鉄製中継用ドレイン		
						○	内装薄塗材Si	薄付け仕上塗材 内装けい酸質系		付属物(備考欄)		区分	表示略号	名 称	備 考
					○	内装薄塗材E	薄付け仕上塗材 内装合成樹脂エマルジョン系					消火器ボックス	床置型(ABC粉末消火器10型)		
					○	内装薄塗材W	薄付け仕上塗材 内装水性樹脂系					ノスリッパ	アルミニウム製 W=50		
					○	外装厚塗材C	厚付け仕上塗材 外装セメント系					外部ノスリッパ	ステンレス製 ゴムなし アンカー付き W=35		
					○	外装厚塗材Si	厚付け仕上塗材 外装けい酸質系				ブライント	横形ブライント キヤセ、スラットの幅:25、スラットの種類:アルミニウム製			
					○	外装厚塗材E	厚付け仕上塗材 外装合成樹脂エマルジョン系				床下点検口	600角鋳付7フル酸製(ステンレス枠)とし、仕上は床材と同一とする。			
					○	内装厚塗材C	厚付け仕上塗材 内装セメント系				天井点検口	450角アルミ製(枠共)とし、仕上は天井材と同一とする。			
					○	内装厚塗材L	厚付け仕上塗材 内装消石灰・ドロマイト・ラスター系				室外枠:額縁タイプ、内枠:額縁タイプ				
					○	内装厚塗材G	厚付け仕上塗材 内装石膏系厚付け仕上塗材				室名札	プレート7フル酸 平付け型(縦差し式) 75x300 「8-41-1」			
					○	内装厚塗材Si	厚付け仕上塗材 内装けい酸質系				ビクトサイン	7フル酸製 200×200 平付け			

不燃材料等一覧表				
区分	表示略号	名 称	規格・寸法	性能
○	GB-R	石こうボード	厚12.5mm、15mm	不燃
○	GB-R	石こうボード	厚9.5mm	準不燃
	GB-NC	不燃積層石こうボード	厚9.5mm	不燃
	GB-D<W>	化粧せっこうボード<木目模様>	厚9.5mm	不燃 準不燃
○	GB-D<T>	化粧せっこうボード<トラバーチン模様>	厚9.5mm	不燃 準不燃
	GB-P	吸音用穴あき石こうボード	厚9.5mm、12.5mm	準不燃
○	GB-S	シーリング石こうボード	厚9.5mm、12.5mm	不燃 準不燃
	GB-F	強化せっこうボード	厚12.5mm、15mm、21mm	不燃
	GB-H	硬質石こう板	厚9.5mm	不燃
	FK	無石綿けい酸カルシウム板	厚6mm、8mm、10mm、12mm	不燃
	FK-K	無石綿化粧けい酸カルシウム板	厚6mm	不燃
	FK-P	吸音用穴あき無石綿けい酸カルシウム板	厚6mm、8mm	不燃
	DR	ロックウール化粧吸音板	厚9mm、12mm、15mm	不燃
	ガラスカー24K	グラスウール吸音フェルト	24K 厚25mm、50mm	不燃
	ガラスカー32K	グラスウール吸音ボード(ガラスカー張り)	32K 厚25mm、50mm	不燃

図面略号一覧表					
表示略号	表示事項	表示略号	表示事項	表示略号	表示事項
W	幅	L	長さ	H	高さ
φ	直径	r	半径	@	間隔
t	厚さ	PL	プレート	FB	フラットバー

外部仕上表							
・仕上表内の一部撤去・新設の範囲は、図示の範囲とする。							
区分	部位	改修前	改修後	区分	部位	改修前	改修後

屋根	屋根	仕上: <平場部>7フル酸露出防水(既設)	仕上: <平場部>7フル酸露出防水(既設のまま)	外部	揚裏	仕上: 外装薄塗材E(既設)	仕上: 外装薄塗材E(既設のまま)		
		<立上り>7フル酸露出防水(既設)	<立上り>7フル酸露出防水(既設のまま)			下地: コンクリート打放し(既設)	下地: コンクリート打放し(既設のまま)	下地: コンクリート打放し(既設)	下地: コンクリート打放し(既設のまま)
		下地: コンクリート打放し(既設)	下地: コンクリート打放し(既設のまま)			笠木: 仕上 防水モルタル金釘押し(既設)	笠木: 仕上 防水モルタル金釘押し(既設のまま)	下地: コンクリート打放し(既設)	下地: コンクリート打放し(既設のまま)
外部	外壁	仕上: 外装薄塗材E(一部撤去)	仕上: 外装薄塗材E(一部新設)	その他	養生管	硬質塩化ビニル管φ125 SOP(既設)	硬質塩化ビニル管φ100 SOP(既設のまま)		
		下地: コンクリート打放し(既設)	可とう形改修塗材E(新設)			支持金物 スチール製@1,200(既設)	支持金物 スチール製@1,200(既設のまま)		
	下地: コンクリート打放し(既設)	下地: コンクリート打放し(既設のまま)	配管用鋼管φ150 H=2,000 SOP(既設)			配管用鋼管φ125 H=2,000 SOP(既設のまま)			
	仕上: 外装薄塗材E(一部撤去)	仕上: 外装薄塗材E(一部新設)	支持金物 スチール製@1,200(既設)			支持金物 スチール製@1,200(既設のまま)			
	下地: コンクリート打放し(既設)	下地: コンクリート打放し(既設のまま)							
柱型	柱型	仕上: 外装薄塗材E(一部撤去)	仕上: 外装薄塗材E(一部新設)						
		下地: コンクリート打放し(既設)	下地: コンクリート打放し(既設のまま)						
梁型	梁型	仕上: 外装薄塗材E(一部撤去)	仕上: 外装薄塗材E(一部新設)						
		下地: コンクリート打放し(既設)	下地: コンクリート打放し(一部新設)						
梁天端<笠木>	梁天端<笠木>	仕上: 防水モルタル塗り(一部撤去)	仕上: 防水モルタル塗り(既設のまま)、塗膜防水(新設)						
		下地: コンクリート打放し(既設)	下地: コンクリート打放し(既設のまま)、モルタル塗り 厚30 水勾配付き(新設)						
根廻り	根廻り	仕上: 外装薄塗材E(一部撤去)	仕上: 外装薄塗材E(一部新設)						
		下地: コンクリート打放し(既設)	下地: コンクリート打放し(一部新設)						

 株式会社 村田相互設計 MURATA SOGO ARCHITECT & ASSOCIATES.	一級建築士事務所 広島県知事登録 09(1)第1573号 福岡県知事登録 第1-55229号	一級建築士 第116837号 向井良憲 承認	平成24年度 小学校大規模改修事業 原小学校校舎(8)(10)耐震補強工事(建築)	A2: 100% A3: 70%	図面No. 建築
	校舎(8)共通事項、凡例、外部仕上表	縮尺 -	08		

内部仕上表

・仕上表内の一部撤去・新設の範囲は、図示の範囲とする。
 ・床レベルは、特記なき限り 仕上:FL±0/躯体:FL-30とする。

階数	室名	改修前	床				壁 (腰壁、柱型、下り壁含む)		梁型 (梁側面、梁底)		廻り縁	天井		天井高	化学物質の濃度測定 (測定箇所数)	備考	
			床レベル 仕上/躯体	下地	仕上	幅木 仕上 高さ	下地	仕上	下地	仕上		下地	仕上				
1階	普通教室102	改修前	±0	モルタル塗 厚30(既設)	ビニル床タイル(既設)	ビニル巾木(既設)	100	モルタル金ゴテ押エ(一部撤去)	EP(一部撤去)	—	—	塩ビ(既設)	LGS(既設)	化粧石膏ボード厚9.0(既設)	3,020	1	
		改修後	±0	モルタル塗 厚30(既設のまま)	ビニル床タイル(既設のまま)	ビニル巾木(既設のまま)	100	モルタル金ゴテ押エ(一部新設)	EP(一部新設)	—	—	塩ビ(既設のまま)	LGS(既設のまま)	化粧石膏ボード厚9.0(既設のまま)	3,020		耐震補強:耐震スリット(新設)
	廊下	改修前	±0	モルタル塗 厚30(既設)	ビニル床タイル(既設)	ビニル巾木(一部撤去)	100	モルタル金ゴテ押エ(一部撤去)	EP(一部撤去) VP H=1,200(一部撤去)	—	—	塩ビ(既設)	LGS(既設)	化粧石膏ボード厚9.0(既設)	2,800		
		改修後	±0	モルタル塗 厚30(既設のまま)	ビニル床タイル(既設のまま)	ビニル巾木(一部新設)	100	モルタル金ゴテ押エ(一部新設)	EP(一部新設) EP-G H=1,200(一部新設)	—	—	塩ビ(既設のまま)	LGS(既設のまま)	化粧石膏ボード厚9.0(既設のまま)	2,800		耐震補強:RC壁(新設) 耐震スリット(新設)
	改修前																
	改修後																
2階	廊下	改修前	±0	モルタル塗 厚30(既設)	ビニル床タイル(既設)	ビニル巾木(既設)	100	モルタル金ゴテ押エ(一部撤去)	EP(既設) VP H=1,200(一部撤去)	—	—	塩ビ(既設)	LGS(既設)	化粧石膏ボード厚9.0(既設)	2,800		
		改修後	±0	モルタル塗 厚30(既設のまま)	ビニル床タイル(既設のまま)	ビニル巾木(既設のまま)	100	モルタル金ゴテ押エ(一部新設)	EP(既設のまま) EP-G H=1,200(一部新設)	—	—	塩ビ(既設のまま)	LGS(既設のまま)	化粧石膏ボード厚9.0(既設のまま)	2,800		耐震補強:RC壁(新設) 耐震スリット(新設)
3階	廊下	改修前	±0	モルタル塗 厚30(既設)	ビニル床タイル(既設)	ビニル巾木(既設)	100	モルタル金ゴテ押エ(一部撤去)	EP(既設) VP H=1,200(一部撤去)	—	—	塩ビ(既設)	LGS(既設)	化粧石膏ボード厚9.0(既設)	2,800		
		改修後	±0	モルタル塗 厚30(既設のまま)	ビニル床タイル(既設のまま)	ビニル巾木(既設のまま)	100	モルタル金ゴテ押エ(一部新設)	EP(既設のまま) EP-G H=1,200(一部新設)	—	—	塩ビ(既設のまま)	LGS(既設のまま)	化粧石膏ボード厚9.0(既設のまま)	2,800		耐震補強:耐震スリット(新設)
共通	男子便所	改修前	-80	モルタル塗 厚50(撤去)	セラミックタイル(撤去)	—	—	モルタル(撤去)	100角磁器質タイル(撤去)	—	—	塩ビ(撤去)	LGS(撤去)	ケイカル板 厚6.0 VP(撤去)	2,500		トイレース(撤去)
		改修後	±0	モルタル 厚30(新設) 軽量コンクリート(新設)	ビニル床シート(新設)	ビニル巾木	100	モルタル金ゴテ押エ(新設) LGS下地(新設) GB-S厚12.5+9.5(新設)	ビニル床シート(新設) EP(新設)	—	—	塩ビ(新設)	LGS(新設)	化粧石膏ボード厚9.5(新設)	2,440		トイレース(新設) 手摺(新設) ビクトグラフ(新設)
	1階多目的便所	改修前															
		改修後	±0	モルタル 厚30(新設)	ビニル床シート(新設)	ビニル巾木	100	モルタル金ゴテ押エ(新設) LGS下地(新設) GB-S厚12.5+9.5(新設)	ビニル床シート(新設) EP(新設)	—	—	塩ビ(新設)	LGS(新設)	化粧石膏ボード厚9.5(新設)	2,440		ビクトグラフ(新設)
	女子便所	改修前	-80	モルタル塗 厚50(撤去)	セラミックタイル(撤去)	—	—	モルタル(撤去)	100角磁器質タイル(撤去)	—	—	塩ビ(撤去)	LGS(撤去)	ケイカル板 厚6.0 VP(撤去)	2,500		トイレース(撤去)
		改修後	±0	モルタル 厚30(新設) 軽量コンクリート(新設)	ビニル床シート(新設)	ビニル巾木	100	モルタル金ゴテ押エ(新設) LGS下地(新設) GB-S厚12.5+9.5(新設)	ビニル床シート(新設) EP(新設)	—	—	塩ビ(新設)	LGS(新設)	化粧石膏ボード厚9.5(新設)	2,440		トイレース(新設) 手摺(新設) ビクトグラフ(新設)
	手洗場	改修前	±0	モルタル塗 厚30(既設)	ビニル床タイル(撤去)	ビニル巾木(撤去)	100	モルタル金ゴテ押エ(撤去)	VP(撤去)	—	—	塩ビ(撤去)	LGS(撤去)	ケイカル板 厚6.0 VP(撤去)	2,420		
		改修後	±0	モルタル塗 厚30(既設のまま)	ビニル床シート(新設)	ビニル巾木	100	モルタル金ゴテ押エ(新設) LGS下地(新設) GB-S厚12.5+9.5(新設)	ビニル床シート(新設) EP(新設)	—	—	塩ビ(新設)	LGS(新設)	化粧石膏ボード厚9.5(新設)	2,440		



株式会社 村田相互設計
 MURATA SOGO ARCHITECT & ASSOCIATES.

一級建築士事務所
 広島県知事登録 09(1)第 1573号
 福岡県知事登録 第1-55229号

一級建築士 第116837号
 向井良憲
 承認

平成24年度 小学校大規模改造事業
 原小学校校舎(8)(10)耐震補強工事(建築)

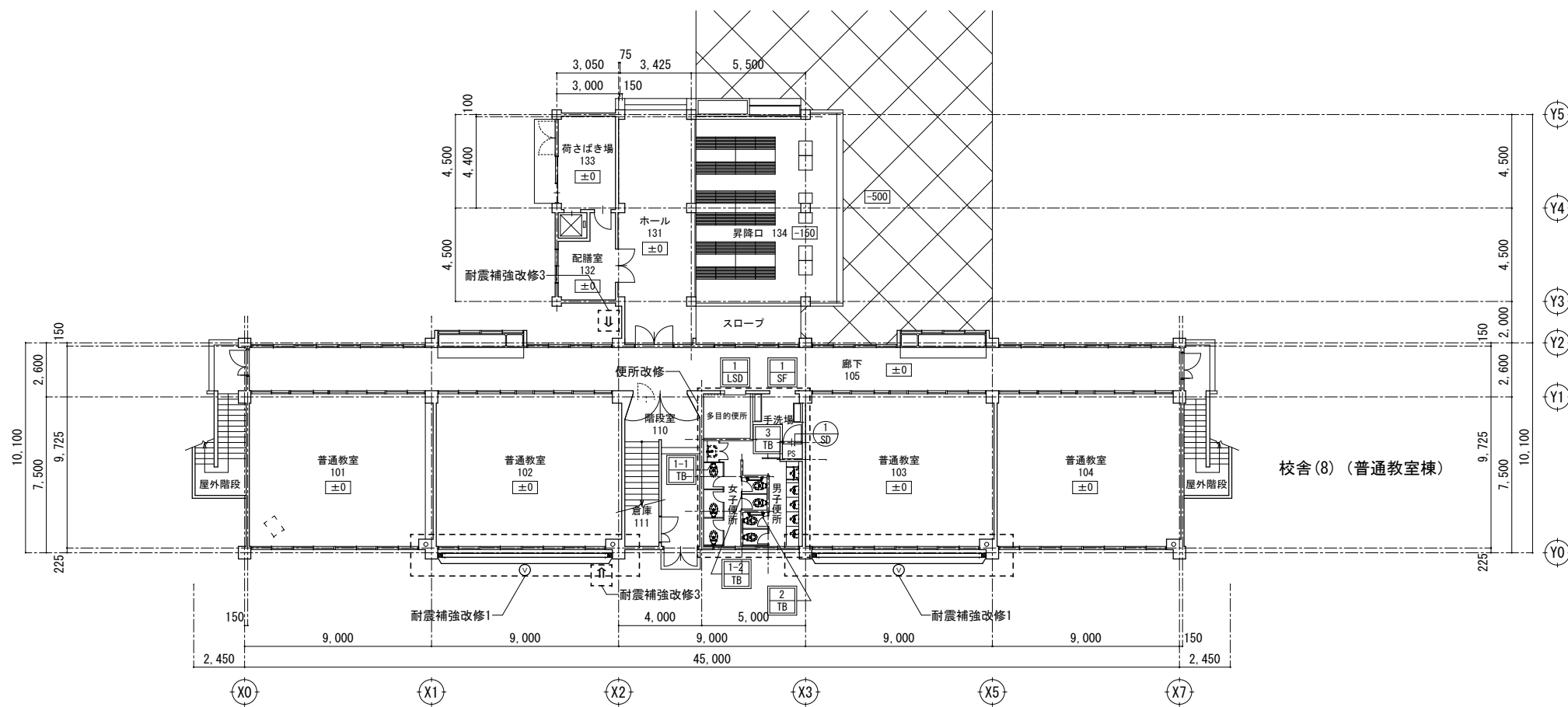
校舎(8)内部仕上表

A2: 100%
 A3: 70%

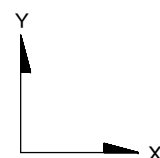
縮尺

-

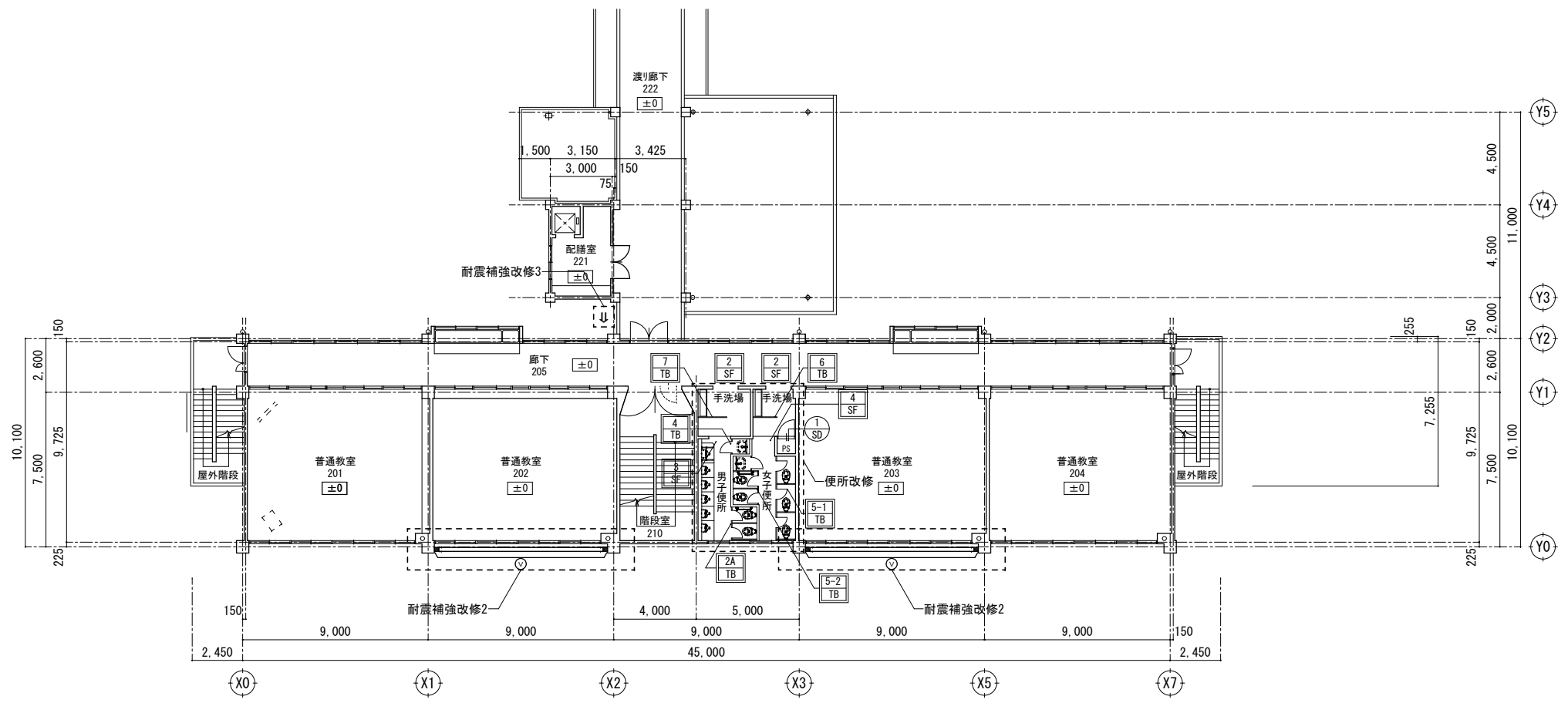
図面No.
 建築
 09



改修後 1階平面図

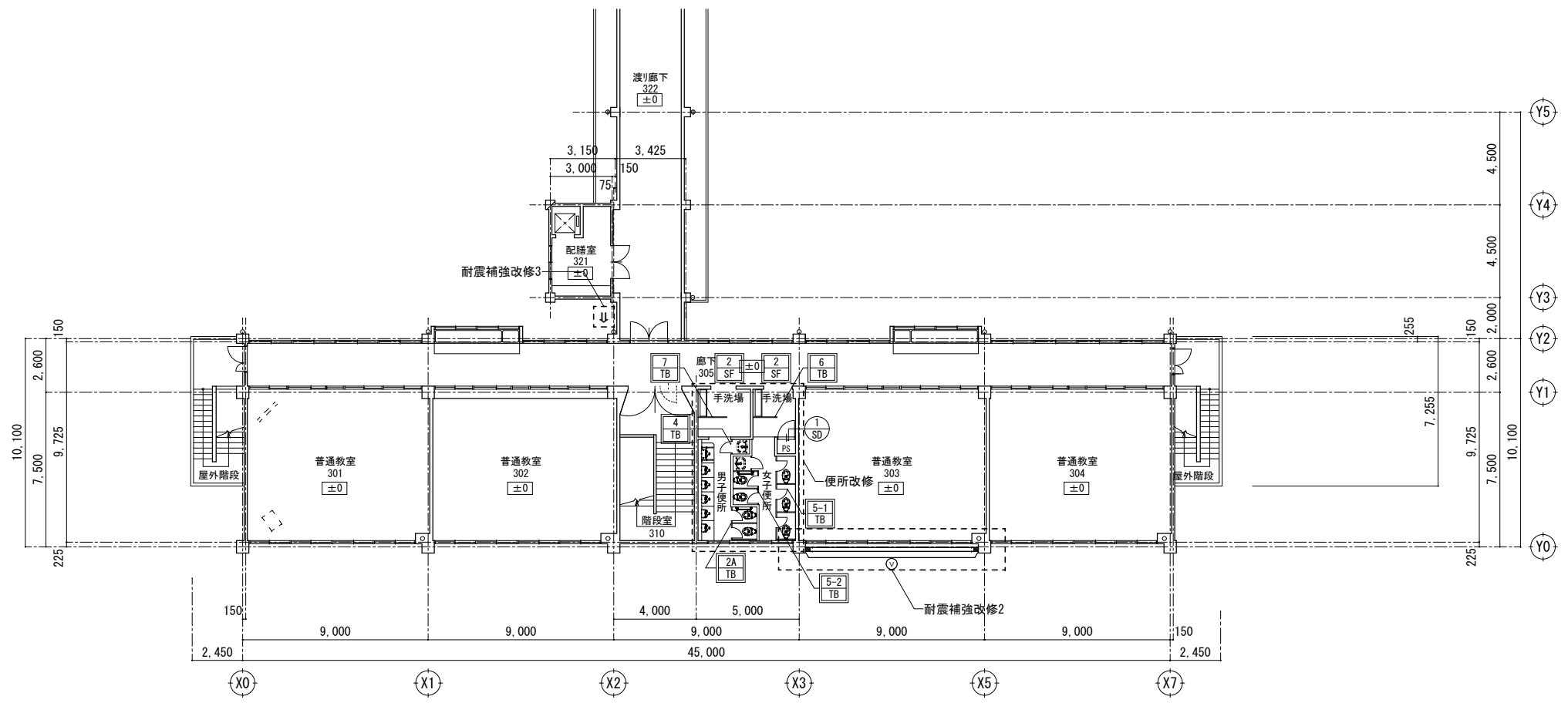


改修後 凡例	
	コンクリート壁<RC>
	軽量鉄骨壁下地壁<LGS>
	仕上レベル各階FL=±0
	耐震補強：鉄骨ブレース(新設)
	耐震補強：RC壁増打(新設)
	耐震補強：スリット(新設)
	耐震補強範囲を示す。
	建具新設



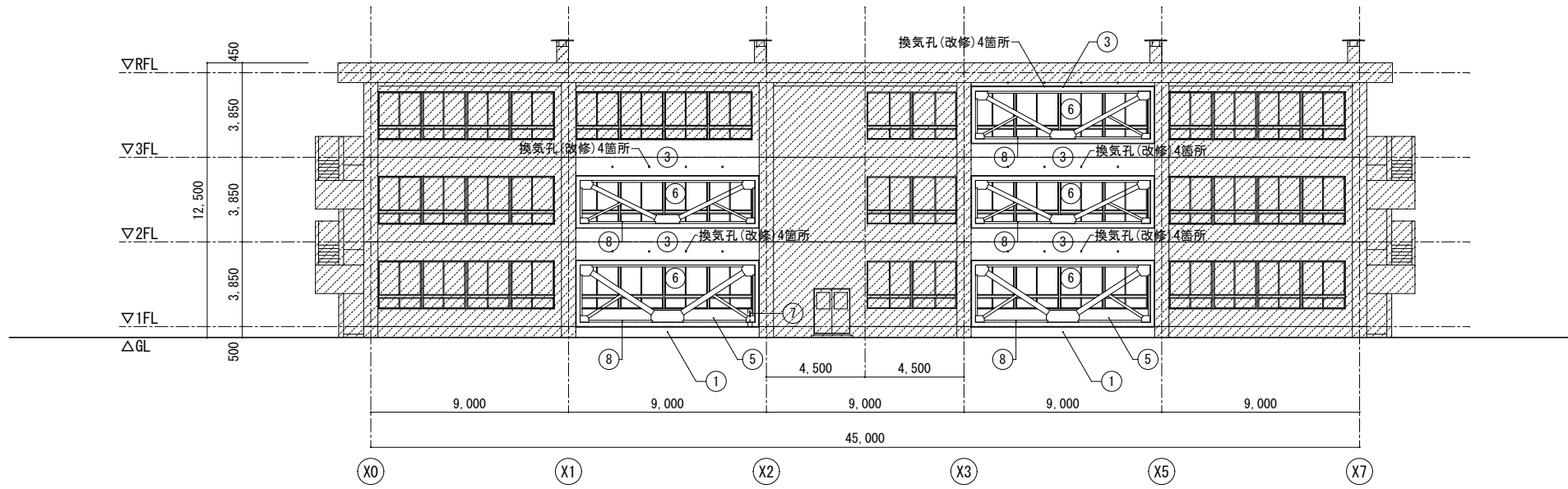
改修後 2階平面図

改修後 凡例	
	コンクリート壁<RC>
	軽量鉄骨壁下地壁<LGS>
	仕上レベル各階FL=±0
	耐震補強：鉄骨ブレース(新設)
	耐震補強：RC壁増打(新設)
	耐震補強：スリット(新設)
	耐震補強範囲を示す。
	建具新設

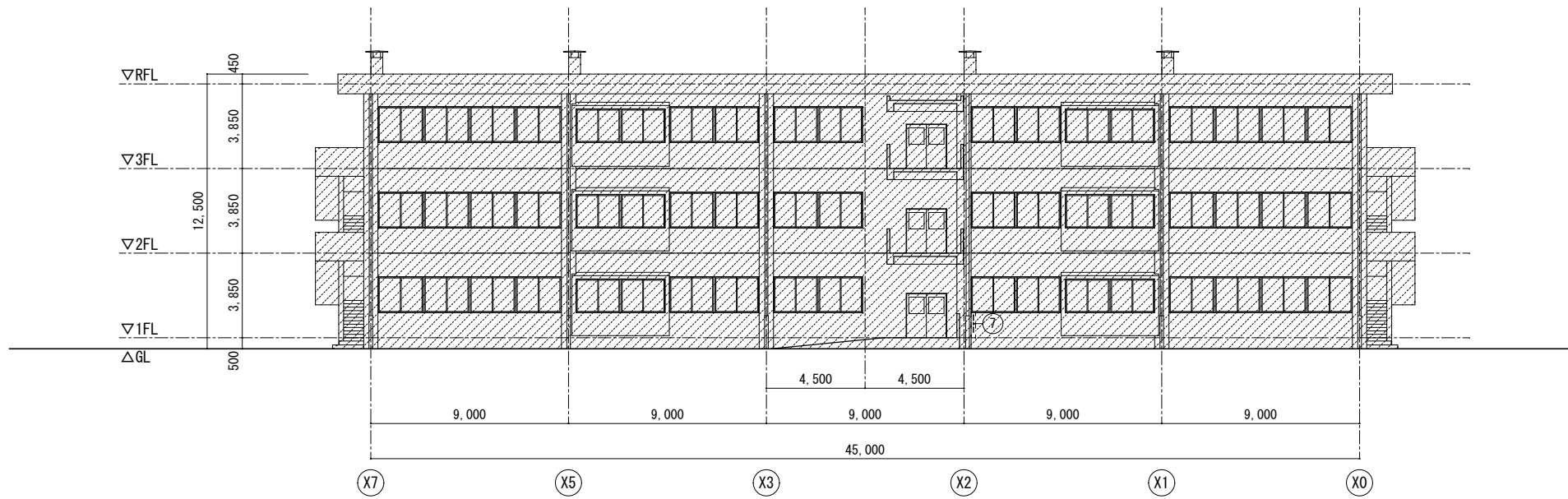


改修後 3階平面図

改修後 凡例	
	コンクリート壁<RC>
	軽量鉄骨壁下地壁<LGS>
	仕上レベル各階FL=±0
	耐震補強：鉄骨ブレース(新設)
	耐震補強：RC壁増打(新設)
	耐震補強：スリット(新設)
	耐震補強範囲を示す。
	建具新設



校舎(8)南面立面図



校舎(8)北面立面図

□改修後 立面図用仕上表 ※(・・・)は、工事内容を示す。

番号	部位	改修前
①	根廻り	仕上：外装薄塗材E(新設) 下地：コンクリート打放し(既設のまま)
②	柱型	仕上：外装薄塗材E(既設のまま) 下地：コンクリート打放し(既設のまま)
③	梁型	仕上：外装薄塗材E(新設) 下地：コンクリート打放し(新設)
④	外壁	仕上：外装薄塗材E(新設) 下地：コンクリート打放し(既設のまま)
⑤	外壁	仕上：外装薄塗材E(既設のまま) 下地：コンクリート打放し(既設のまま)
⑥	建具	7mm製建具(既設のまま)
⑦	外壁(スリット)	仕上：可とう形改修塗材E(新設) 下地：コンクリート打放し(既設のまま)
⑧	鉄骨ブレース	耐震補強：鉄骨ブレース(新設) (周囲 無収縮モルタル 新設)
⑨		
⑩		

※スリットの為の外壁補修範囲及びスリット長さは、内部と同じとする。

改修後 凡例

- - - - -	カッター入れを示す。		作業対象外を示す。
-----------	------------	--	-----------

<p>株式会社 村田相互設計 MURATA SOGO ARCHITECT & ASSOCIATES.</p>	<p>一級建築士事務所 広島県知事登録 09(1)第 1573号 福岡県知事登録 第1-55229号</p>	<p>一級建築士 第116837号 向井良憲 承認</p>	<p>平成24年度 小学校大規模改造事業 原小学校校舎(8)(10)耐震補強工事(建築)</p>	<p>A2: 100% A3: 70%</p>	<p>図面 No. 建築 17</p>
	校舎(8)改修後 立面図			縮尺 1/200	

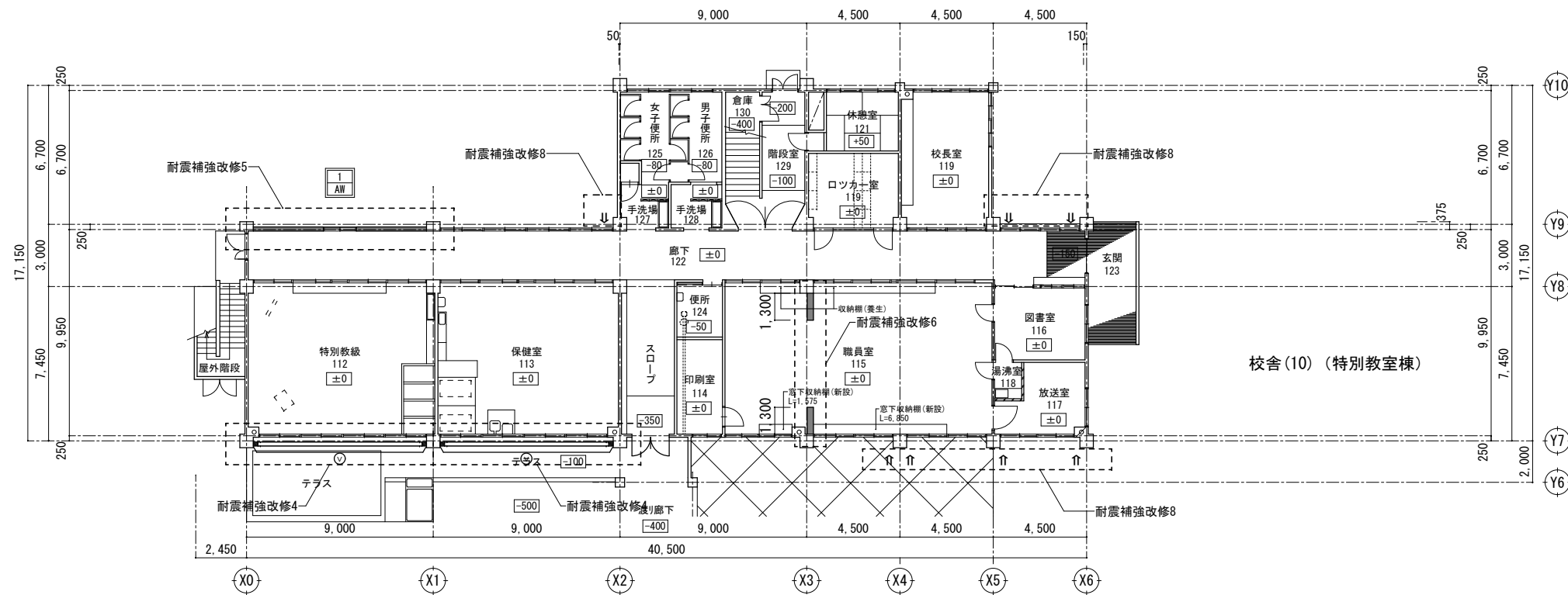
共通事項 (特記なき限り下記とする。)					凡例					凡例									
改修	1. 本工事に伴って仮設養生に伴う既存建物への痕跡は、請負者の責任において現状復旧すること。				塗料	適用	表示略号	名称	備考	床材	区分	表示略号	名称	備考					
	2. 特記なき改修部の木、鉄部、垂鉛めっき面の見え掛り部分はSOP塗とする。					SOP		合成樹脂調合ペイント塗り			ビニル床タイル	コンポジション床タイル t=2.0 CT 半硬質							
	3. 一般鉄部錆止めは、屋外A種、屋内B種とし、工場・現場各1回塗りとする。					CL		クリヤック塗り			ビニル床シート	織布積層ビニル床シート NC t=2.5 マーブル(熱溶接工法)							
	4. 外部鉄骨ブレースは、鉄鋼面に錆止め塗装A種を経て耐候性塗料塗りとする。					FE		7フル樹脂エマルジョン塗り			防滑性ビニル床シート	不織布積層ビニル床シート NF t=2.0 UV樹脂塗装(熱溶接工法)							
	5. 既設モルタル塗り面の仕上塗材塗り仕上げ等を改修する場合の既存塗膜の一部除去の工法はサンダー工法とする。					NAD		7フル樹脂系非水分散形塗料塗り			耐薬品性ビニル床シート	不織布積層ビニル床シート NF t=2.0(熱溶接工法)							
	6. 鉄骨ブレース周囲の無収縮モルタル部分の仕上は、図示してある仕上で表・裏の見え掛り部分全てとする。					AE		7フル樹脂エマルジョン塗り			タイルカーペット	ルーフパイル t=6.5							
	7. 可とう形改修塗材Eを新設する前に、既存外壁面の水洗い(高圧ホース10~15Mpa程度)を行うこと。					DP-3		耐候性塗料塗り:2液形ホリケレンエマルジョン塗り			ビニル幅木	長尺ソフト巾木 H=100							
						DP-2		耐候性塗料塗り:7フル樹脂エマルジョン塗り			木製幅木	米つが H=100(塗装別途図示)							
						○ DP-1		耐候性塗料塗り:常温乾燥形ふっ素樹脂エマルジョン塗り			石幅木	大理石 20×150 本磨き(模様は既存あわせとする。)							
						○ EP-G		つや有り合成樹脂エマルジョンペイント塗り			外装床タイル	磁器質100角タイル 無釉 t=8 圧着張り							
				○ EP		合成樹脂エマルジョンペイント塗り													
				EP-M		多彩模様塗料塗り													
				EP-T		合成樹脂エマルジョン模様塗料塗り		壁・天井材	区分	表示略号	名称	備考							
				UC		ウレタン樹脂ニス塗り		壁紙		抗菌、防カビ、汚れ防止、AAランク									
				OS		オイルステイン塗り		外装壁タイル		磁器質二丁掛 平227×60 施釉 t=13 改良圧着張り									
				マステックA		マステック塗料塗り A種		内装壁タイル		陶器質100角タイル 施釉 t=5 接着剤張り									
				マステックB		マステック塗料塗り B種													
				マステックC		マステック塗料塗り C種													
				撥水塗料		超撥水超耐候形特殊シリコン変性樹脂塗料	エスケ-北研株式会社 7フルペイント 参考品	防水材・屋根材	区分	表示略号	名称	備考							
				吹付け材料	適用	表示略号	名称	備考	保護7フル防水		7フル防水 屋根保護防水密着工法<A-1>								
						外装薄塗材Si	薄付け仕上塗材 外装けい酸質系				保護コンクリート:t=80 伸縮目地 @3000程度、溶接金網φ100×100								
						可とう形外装薄塗材Si	薄付け仕上塗材 可とう形外装けい酸質系				立上り防水押え:乾式保護工法								
						○ 外装薄塗材E	薄付け仕上塗材 外装合成樹脂エマルジョン系				露出7フル防水	7フル防水 屋根露出防水絶縁工法<D-1>							
						外装薄塗材E<石調>	薄付け仕上塗材 外装合成樹脂エマルジョン系 陶石状仕上げ	エスケ-北研株式会社 7フルペイント 参考品			改質7フルシート防水	改質7フルシート防水 屋根露出防水密着工法(トーチ工法)<AS-2>							
						防水形外装薄塗材E	薄付け仕上塗材 防水形外装合成樹脂エマルジョン系				○ 塗膜防水	ウレタン系塗膜防水<X-2>							
						外装薄塗材S	薄付け仕上塗材 外装合成樹脂溶液系				○ 脱気システム	ステンレス製							
						内装薄塗材C	薄付け仕上塗材 内装セメント系				○ シーリング	適用は、公共建築標準仕様書 平成22年版 表9.6.11による。							
						内装薄塗材L	薄付け仕上塗材 内装消石灰・ドロマイトペースト系												
						内装薄塗材Si	薄付け仕上塗材 内装けい酸質系												
						内装薄塗材E	薄付け仕上塗材 内装合成樹脂エマルジョン系												
						内装薄塗材W	薄付け仕上塗材 内装水性樹脂系												
						外装厚塗材C	厚付け仕上塗材 外装セメント系												
						外装厚塗材Si	厚付け仕上塗材 外装けい酸質系												
						外装厚塗材E	厚付け仕上塗材 外装合成樹脂エマルジョン系												
						内装厚塗材C	厚付け仕上塗材 内装セメント系												
						内装厚塗材L	厚付け仕上塗材 内装消石灰・ドロマイトペースト系												
						内装厚塗材G	厚付け仕上塗材 内装石膏系厚付け仕上塗材												
						内装厚塗材Si	厚付け仕上塗材 内装けい酸質系												
						内装厚塗材E	厚付け仕上塗材 内装合成樹脂エマルジョン系												
						複層塗材CE	複層仕上塗材 ホリマセメント系												
						複層塗材Si	複層仕上塗材 けい酸質系												
						複層塗材E	複層仕上塗材 合成樹脂エマルジョン系												
						複層塗材RE	複層仕上塗材 反応硬化形合成樹脂エマルジョン系												
						可とう形複層塗材CE	複層仕上塗材 可とう形ホリマセメント系												
						複層塗材RS	複層仕上塗材 合成樹脂溶液系												
						○ 可とう形改修塗材E	可とう形改修仕上塗材 耐候形2種												
外部仕上表 ・仕上表内の一部撤去・新設の範囲は、図示の範囲とする。																			
区分	部位	改修前				改修後				区分	部位	改修前				改修後			
屋根	屋根	仕上: <平場部>7フル露出防水(既設)				仕上: <平場部>7フル露出防水(既設のまま)				外部	揚裏	仕上: 外装薄塗材E(既設)				仕上: 外装薄塗材E(既設のまま)			
		<立上り>7フル露出防水(既設)				<立上り>7フル露出防水(既設のまま)						下地: コンクリート打放し(既設)				下地: コンクリート打放し(既設のまま)			
外部	外壁	下地: コンクリート打放し(既設)				下地: コンクリート打放し(既設のまま)				堅樋		硬質塩化ビニル管φ125 SOP(既設)				硬質塩化ビニル管φ100 SOP(既設のまま)			
		笠木: 仕上 防水モルタル金釘押し(既設)				笠木: 仕上 防水モルタル金釘押し(既設のまま)						支持金物 スチール製φ1,200(既設)				支持金物 スチール製φ1,200(既設のまま)			
外部	柱型	下地: コンクリート打放し(既設)				下地: コンクリート打放し(既設のまま)				養生管		配管用鋼管φ150 H=2,000 SOP(既設)				配管用鋼管φ125 H=2,000 SOP(既設のまま)			
		仕上: 外装薄塗材E(一部撤去)				仕上: 外装薄塗材E(既設のまま)、外装薄塗材E(新設)						支持金物 スチール製φ1,200(既設)				支持金物 スチール製φ1,200(既設のまま)			
外部	梁型	下地: コンクリート打放し(既設)				下地: コンクリート打放し(既設のまま)				その他									
		仕上: 外装薄塗材E(一部撤去)				仕上: 外装薄塗材E(既設のまま)、外装薄塗材E(新設)													
外部	梁天端<笠木>	下地: コンクリート打放し(既設)				下地: コンクリート打放し(既設のまま)													
		仕上: 防水モルタル塗り(一部撤去)				仕上: 防水モルタル塗り(既設のまま)、塗膜防水(新設)													
外部	根廻り	下地: コンクリート打放し(既設)				下地: コンクリート打放し(既設のまま)													
		仕上: 外装薄塗材E(一部撤去)				仕上: 外装薄塗材E(一部新設)													
				下地: コンクリート打放し(一部新設)															

不燃材料等一覧表												
区分	表示略号	名称	規格・寸法	性能								
	GB-R	石こうボード	厚12.5mm、15mm	不燃								
	GB-R	石こうボード	厚9.5mm	準不燃								
	GB-NC	不燃積層石こうボード	厚9.5mm	不燃								
	GB-D<W>	化粧せっこうボード<木目模様>	厚9.5mm	不燃	準不燃							
○	GB-D<T>	化粧せっこうボード<トラバーチン模様>	厚9.5mm	不燃	準不燃							
	GB-P	吸音用穴あき石こうボード	厚9.5mm、12.5mm	準不燃								
	GB-S	シーリング石こうボード	厚9.5mm、12.5mm	不燃	準不燃							
	GB-F	強化せっこうボード	厚12.5mm、15mm、21mm	不燃								
	GB-H	硬質石こう板	厚9.5mm	不燃								
	FK	無石綿けい酸カルシウム板	厚6mm、8mm、10mm、12mm	不燃								
	FK-K	無石綿化粧けい酸カルシウム板	厚6mm	不燃								
	FK-P	吸音用穴あき無石綿けい酸カルシウム板	厚6mm、8mm	不燃								
	DR	ロックウール化粧吸音板	厚9mm、12mm、15mm	不燃								
	ガラスパネル24K	ガラスウール吸音フェルト	24K 厚25mm、50mm	不燃								
	ガラスパネル32K	ガラスウール吸音ボード(ガラスクロス張り)	32K 厚25mm、50mm	不燃								
図面略号一覧表												
表示略号	表示事項	表示略号	表示事項	表示略号	表示事項							
W	幅	L	長さ	H	高さ							
φ	直径	r	半径	@	間隔							
t	厚さ	PL	プレート	FB	フラットバー							
株式会社 村田相互設計												
MURATA SOGO ARCHITECT & ASSOCIATES.												
一級建築士事務所												
一級建築士 第116837号												
向井良憲												
承認												
平成24年度 小学校大規模改修事業												
原小学校校舎(8)(10)耐震補強工事(建築)												
A2: 100%												
A3: 70%												
縮尺												
-												
校舎(10) 共通事項、凡例、外部仕上表												
図面No. 建築 37												

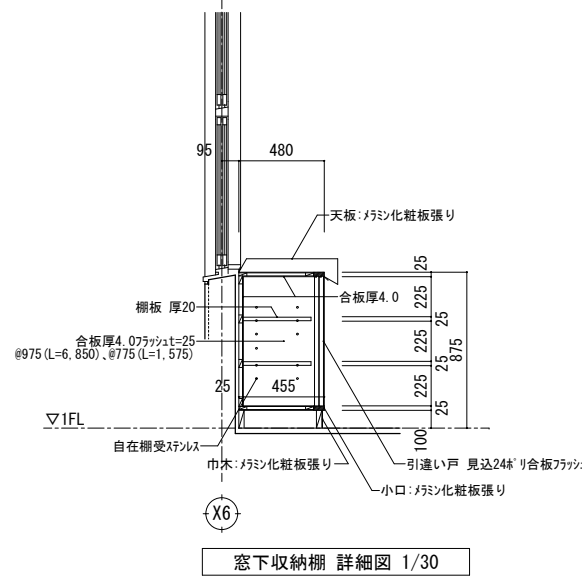
内部仕上表

・仕上表内の一部撤去・新設の範囲は、図示の範囲とする。
 ・床レベルは、特記なき限り 仕上:FL±0/躯体:FL-30とする。

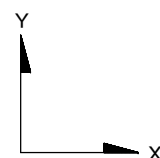
階数	室名	改修前	床				壁 (腰壁、柱型、下り壁含む)		梁型 (梁側面、梁底)		廻り縁	天井		天井高	化学物質の濃度測定 (測定箇所数)	備考		
			床レベル 仕上/躯体	下地	仕上	幅木 仕上 高さ	下地	仕上	下地	仕上		下地	仕上					
1階	職員室	改修前	±0	珪藻土 厚30 (一部撤去)	ビニル床タイル (一部撤去)	ビニル巾木 (一部撤去)	100	珪藻土金ゴテ押工 (一部撤去)	EP (一部撤去)	—	—	塩ビ (一部撤去)	LGS (一部撤去)	化粧石膏ボード 厚9.0 (一部撤去)	3,020		窓下収納棚 (一部撤去、一部養生)	
		改修後	±0	珪藻土 厚30 (一部新設)	ビニル床タイル (一部新設)	ビニル巾木 (一部新設)	100	珪藻土金ゴテ押工 (一部新設)	EP (一部新設)	—	—	塩ビ (一部新設)	LGS (一部新設)	化粧石膏ボード 厚9.5 (一部新設)	3,020	1	窓下収納棚 (一部新設)	
	放送室	改修前	±0	珪藻土 厚30 (既設)	カーペット敷 (既設)	木製巾木 (既設)	100	木下地 (一部撤去)	有孔合板 厚6.0 クロス貼 (一部撤去)	—	—	塩ビ (既設)	LGS (既設)	化粧石膏ボード 厚9.0 (既設)	2,800			
		改修後	±0	珪藻土 厚30 (既設のまま)	カーペット敷 (既設のまま)	木製巾木 (既設のまま)	100	木下地 (一部新設)	有孔合板 厚6.0 クロス貼 (一部新設)	—	—	塩ビ (既設のまま)	LGS (既設のまま)	化粧石膏ボード 厚9.0 (既設のまま)	2,800	1		
	廊下	改修前	±0	珪藻土 厚30 (一部撤去)	ビニル床タイル (一部撤去)	ビニル巾木 (一部撤去)	100	珪藻土金ゴテ押工 (一部撤去)	EP (一部撤去)	—	—	塩ビ (一部撤去)	LGS (一部撤去)	化粧石膏ボード 厚9.0 (一部撤去)	2,800			
		改修後	±0	珪藻土 厚30 (一部新設)	ビニル床タイル (一部新設)	ビニル巾木 (一部新設)	100	珪藻土金ゴテ押工 (一部新設)	EP (一部新設)	—	—	塩ビ (一部新設)	LGS (一部新設)	化粧石膏ボード 厚9.5 (一部新設)	2,800			
2階	図書室	改修前	±0	珪藻土 厚30 (一部撤去)	ビニル床タイル (一部撤去)	ビニル巾木 (一部撤去)	100	珪藻土金ゴテ押工 (一部撤去)	EP (一部撤去)	—	—	塩ビ (一部撤去)	LGS (一部撤去)	化粧石膏ボード 厚9.0 (一部撤去)	3,020			
		改修後	±0	珪藻土 厚30 (一部新設)	ビニル床タイル (一部新設)	ビニル巾木 (一部新設)	100	珪藻土金ゴテ押工 (一部新設)	EP (一部新設)	—	—	塩ビ (一部新設)	LGS (一部新設)	化粧石膏ボード 厚9.5 (一部新設)	3,020	1		
	教材室	改修前	±0	珪藻土 厚30 (一部撤去)	ビニル床タイル (一部撤去)	ビニル巾木 (一部撤去)	100	珪藻土金ゴテ押工 (一部撤去)	EP (一部撤去)	—	—	塩ビ (一部撤去)	LGS (一部撤去)	化粧石膏ボード 厚9.0 (一部撤去)	3,020			
		改修後	±0	珪藻土 厚30 (一部新設)	ビニル床タイル (一部新設)	ビニル巾木 (一部新設)	100	珪藻土金ゴテ押工 (一部新設)	EP (一部新設)	—	—	塩ビ (一部新設)	LGS (一部新設)	化粧石膏ボード 厚9.5 (一部新設)	3,020	1		
	廊下	改修前	±0	珪藻土 厚30 (一部撤去)	ビニル床タイル (一部撤去)	ビニル巾木 (一部撤去)	100	珪藻土金ゴテ押工 (一部撤去)	EP (一部撤去)	—	—	塩ビ (一部撤去)	LGS (一部撤去)	化粧石膏ボード 厚9.0 (一部撤去)	2,800			
		改修後	±0	珪藻土 厚30 (一部新設)	ビニル床タイル (一部新設)	ビニル巾木 (一部新設)	100	珪藻土金ゴテ押工 (一部新設)	EP (一部新設)	—	—	塩ビ (一部新設)	LGS (一部新設)	化粧石膏ボード 厚9.5 (一部新設)	2,800			
	3階	廊下	改修前	±0	珪藻土 厚30 (既設)	ビニル床タイル (既設)	ビニル巾木 (既設)	100	珪藻土金ゴテ押工 (一部撤去)	EP (一部撤去)	—	—	塩ビ (既設)	LGS (既設)	化粧石膏ボード 厚9.0 (既設)	2,800		
			改修後	±0	珪藻土 厚30 (既設のまま)	ビニル床タイル (既設のまま)	ビニル巾木 (既設のまま)	100	珪藻土金ゴテ押工 (一部新設)	EP (一部新設)	—	—	塩ビ (既設のまま)	LGS (既設のまま)	化粧石膏ボード 厚9.0 (既設のまま)	2,800		
		改修前																
		改修後																



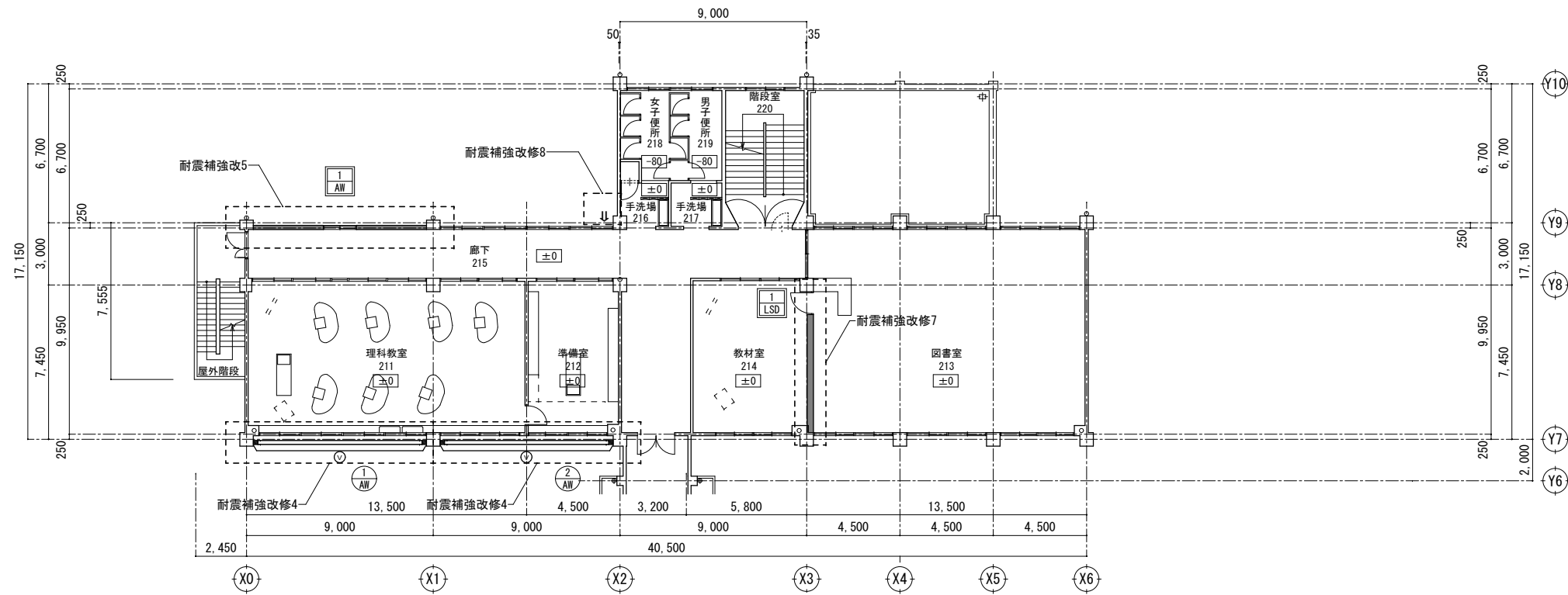
改修後 1階平面図



窓下収納棚 詳細図 1/30

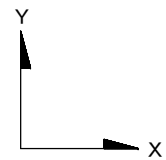


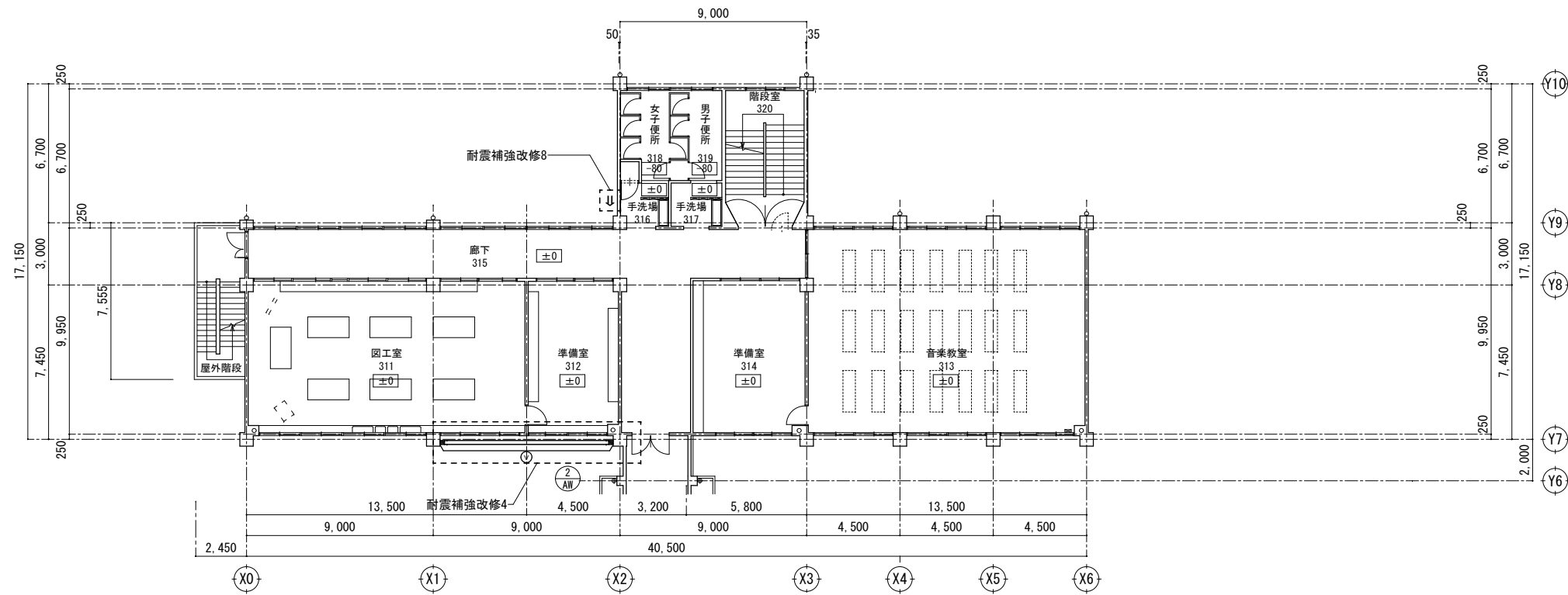
改修後 凡例	
	コンクリート壁<RC>
	軽量鉄骨壁下地壁<LGS>
	仕上い`ル各階FL=±0
	耐震補強：鉄骨ブレース(新設)
	耐震補強：RC壁増打(新設)
	耐震補強：スリット(新設)
	耐震補強範囲を示す。
	建具新設



改修後 2階平面図

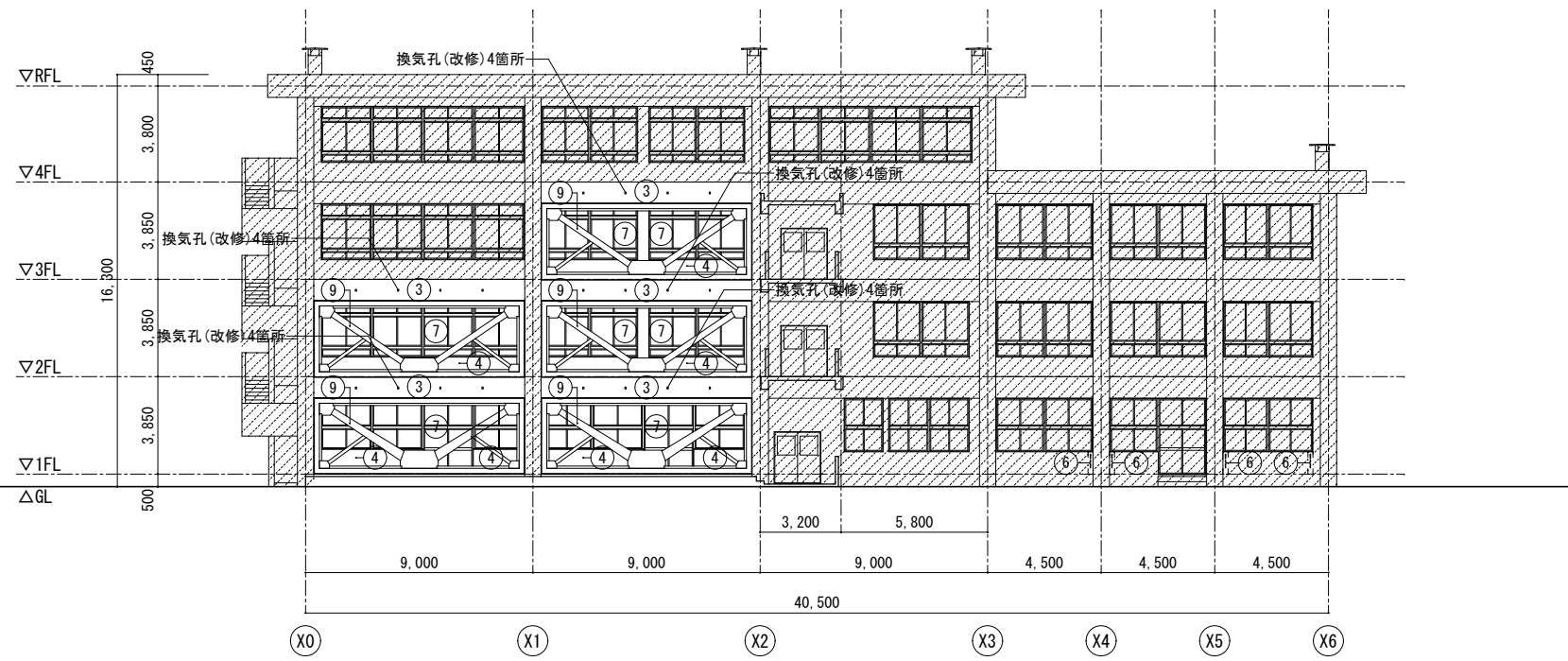
改修後 凡例	
	コンクリート壁<RC>
	軽量鉄骨壁下地壁<LGS>
	仕上レベル<各階FL=±0>
	耐震補強：鉄骨ブレース(新設)
	耐震補強：RC壁増打(新設)
	耐震補強：スリット(新設)
	耐震補強範囲を示す。
	建具新設
	建具改修



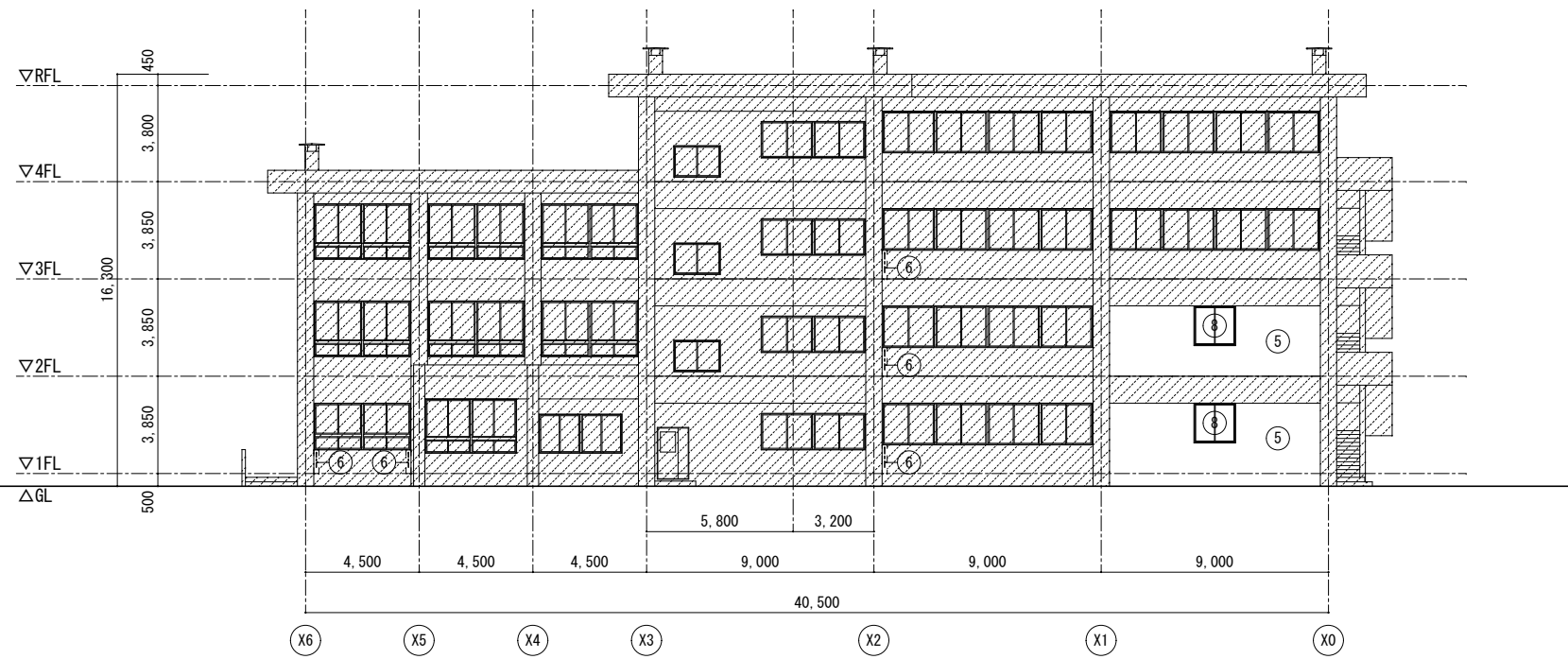


改修後 3階平面図

改修後 凡例	
	コンクリート壁<RC>
	軽量鉄骨壁下地壁<LGS>
	仕上レベル<各階FL=±0>
	耐震補強：鉄骨ブレース(新設)
	耐震補強：RC壁増打(新設)
	耐震補強：スリット(新設)
	耐震補強範囲を示す。
	建具新設
	建具改修



校舎(10)南面立面図



校舎(10)北面立面図

□改修後 立面図用仕上表 ※(・・・)は、工事内容を示す。

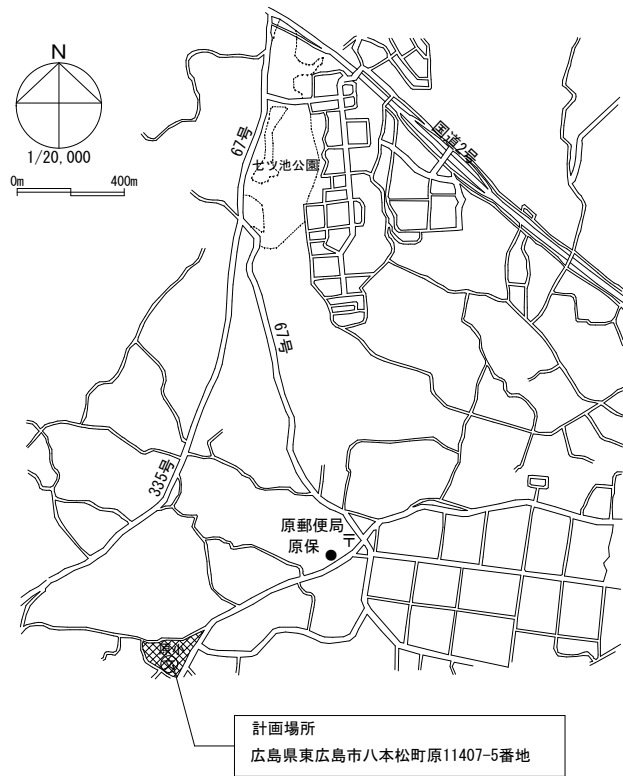
番号	部位	改修前
①	根廻り	仕上：外装薄塗材E(新設) 下地：コンクリート打放し(既設のまま)
②	柱型	仕上：外装薄塗材E(既設のまま) 下地：コンクリート打放し(既設のまま)
③	梁型	仕上：外装薄塗材E(新設) 下地：コンクリート打放し(新設)
④	外壁	仕上：外装薄塗材E(新設) 下地：コンクリート打放し(既設のまま)
⑤	外壁	仕上：外装薄塗材E(新設) 下地：コンクリート打放し(新設)
⑥	外壁(スリット)	仕上：可とう形改修塗材E(新設) 下地：コンクリート打放し(既設のまま)
⑦	建具	7mm製建具(既設のまま)
⑧	建具	7mm製建具(新設)
⑨	鉄骨ブレース	耐震補強：鉄骨ブレース(新設) (周囲 無収縮モルタル 新設)
⑩		

※スリットの為の外壁補修範囲及びスリット長さは、内部と同じとする。

改修後 凡例

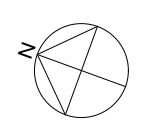
- - - - -	カッター入れを示す。		作業対象外を示す。
-----------	------------	--	-----------

<p>株式会社 村田相互設計 MURATA SOGO ARCHITECT & ASSOCIATES.</p>	<p>一級建築士事務所 広島県知事登録 09(1)第 1573号 福岡県知事登録 第1-55229号</p>	<p>一級建築士 第116837号 向井良憲 承認</p>	<p>平成24年度 小学校大規模改造事業 原小学校校舎(8)(10)耐震補強工事(建築)</p>	<p>A2: 100% A3: 70%</p>	<p>図面 No. 建築 46</p>
	<p>校舎(10)改修後 立面図</p>			<p>縮尺 1/200</p>	



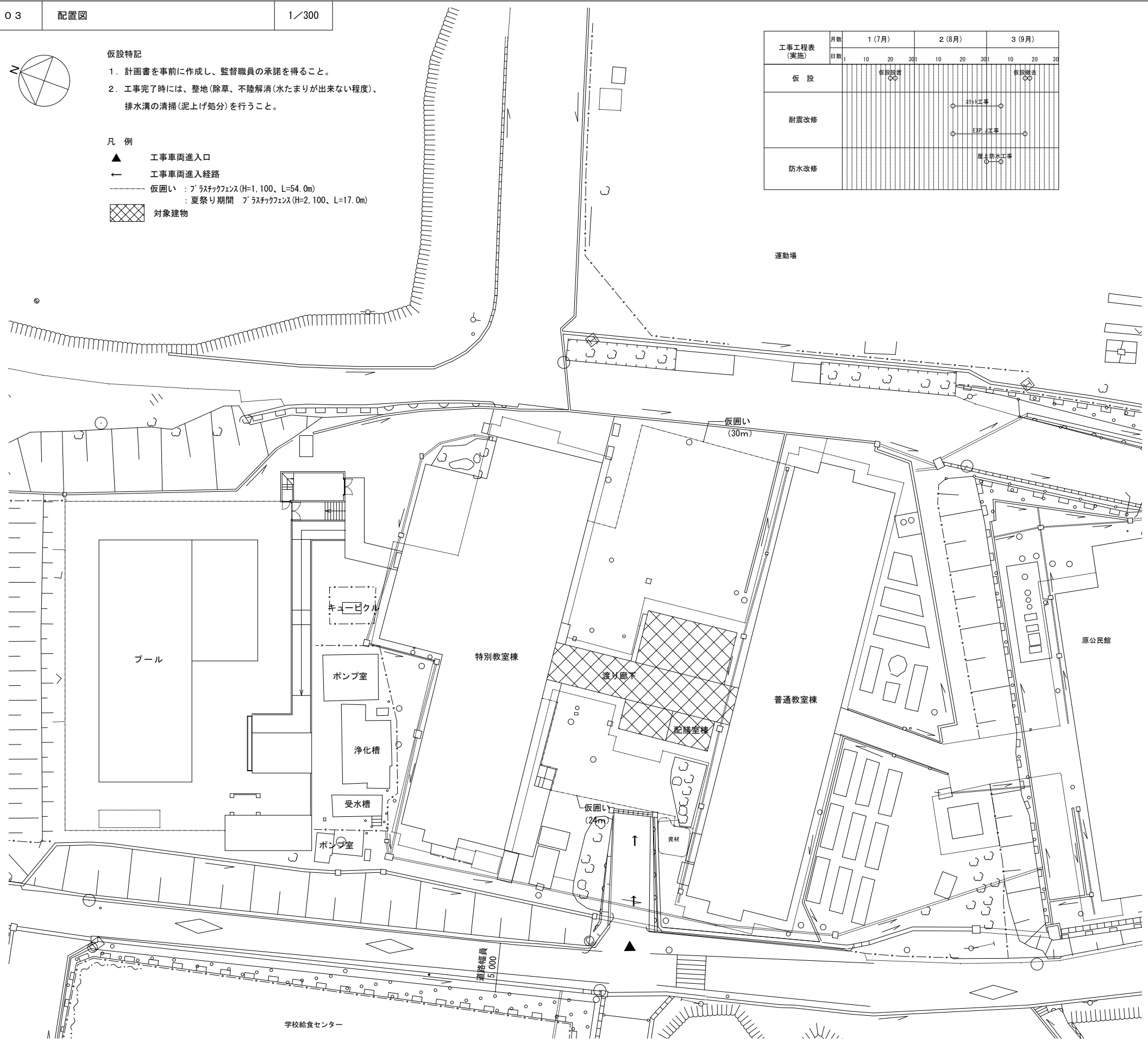
計画場所
広島県東広島市八本松町原11407-5番地

■ 工事名称・その他	
工事名称	平成21年度 小学校大規模改造事業 原小学校配膳室棟⑨耐震補強工事
建築用途	主用途 学校(小学校)
建築地	住所 東広島市八本松町原
工事種別	新築・増築・別棟増築・改築・改修・用途変更・大規模の模様替
	移転・仮設建築・取りこわし・模様替
■ 構造・規模	
配膳室棟	構造・規模：鉄筋コンクリート造、3階建 延床面積：315.49㎡(建築基準法) 建築面積：147.42㎡
■ 各部の高さ (設計GLより)	
最高の高さ	11.8m
最高の軒の高さ	11.3m
塔屋の高さ	
床の高さ	GL+500
■ 工事内容	
I 建築工事	
渡り廊下及び配膳室棟の耐震補強	
1、耐震補強改修工事	耐震スリット(垂直、水平) 外部 47ヶ所
2、耐震補強改修工事	Exp. J改修(建物間幅:50から270へ拡幅)
3、屋上防水改修	渡り廊下上部屋上防水 7スツル露出防水改修



- 仮設特記
1. 計画書を事前に作成し、監督職員の承諾を得ること。
 2. 工事完了時には、整地(除草、不陸解消(水たまりが出来ない程度)、排水溝の清掃(泥上げ処分)を行うこと。

- 凡例
- ▲ 工事車両進入口
 - ← 工事車両進入経路
 - 仮囲い : プラスチックフェンス(H=1.100、L=54.0m)
: 夏祭り期間 プラスチックフェンス(H=2.100、L=17.0m)
 - ▨ 対象建物



工事工程表 (実施)	1 (7月)			2 (8月)			3 (9月)			
	月数	10	20	30	10	20	30	10	20	30
仮設		○								○
耐震改修					○		○			
防水改修										○

運動場

原公民館

学校給食センター

A2版: 100%
A3版: 71%
A4版: 50%



株式会社 村田相互設計
MURATA SOGO ARCHITECT & ASSOCIATES.

一級建築士事務所
広島県知事登録 09(1)第1573号
福岡県知事登録 第1-55229号
山口県知事登録 第2268号

一級建築士 第116837号
向井良憲
承認

平成21年度小学校大規模改造事業
原小学校配膳室棟⑨耐震補強工事

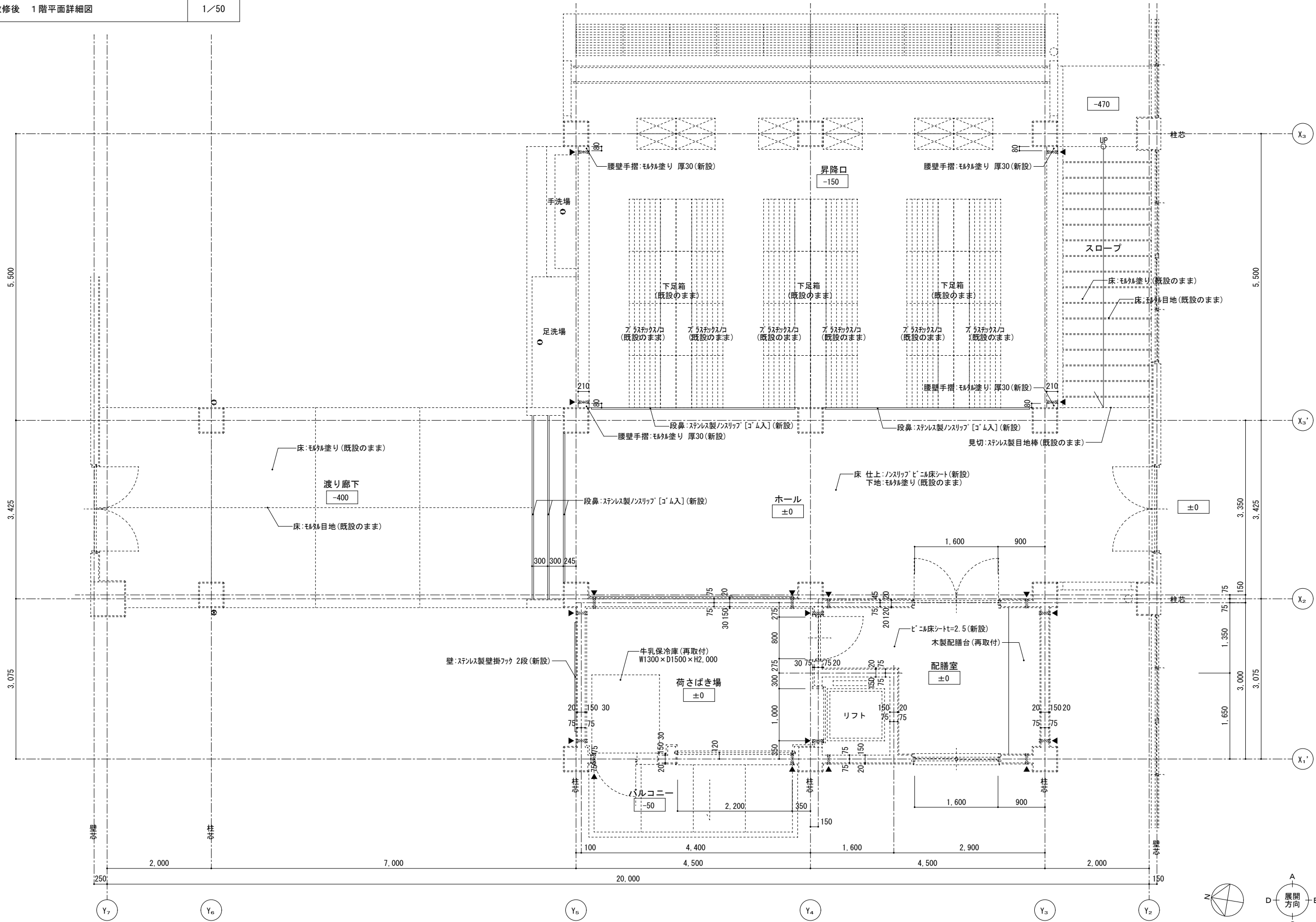
敷地案内図・工事概要・配置図

縮尺
1/20,000
1/300

図面 No.
建築
05

内部仕上表															
※図中【O-O-O】とあるのは建築工事標準詳細図 平成17年版の番号を示す															
・仕上表内の一部撤去・新設の範囲は、図示の範囲とする。															
階数	室名	床	幅木	高さ	腰壁	壁	廻り縁	天井	天井高	備考					
1階	ホール	改修前	下地：モルタル塗り	仕上：塗床(撤去)	モルタル製(撤去)	100	_____	下地：コンクリート打放し	仕上：外装薄塗材E(一部撤去)	_____	下地：LGS(一部撤去)	仕上：石綿ケイ酸カルシウム板 厚6.0+NAD(一部撤去)	3.300	行事用黒板パネル W=1200 H=1200(一時撤去保管) 掲示板 W=2700 H=1200(一時撤去保管) 木製額W900×H900、W2,000×H1,000(一時撤去保管) 校内地図W1,000×H1,000(一時撤去保管) 行事用黒板パネル W=1200 H=1200(再取付) 掲示板 W=2700 H=1200(再取付) 木製額W900×H900、W2,000×H1,000(再取付) 校内地図W1,000×H1,000(再取付)	
		改修後	下地：モルタル塗り(既設のまま)	仕上：ノリアップビニル床シート(新設)	モルタル製(新設)	100	_____	下地：コンクリート打放し(既設のまま)	仕上：外装薄塗材E(一部新設)	_____	下地：モルタル塗り(一部撤去)	仕上：外装薄塗材E(一部撤去)			
	配膳室	改修前	下地：モルタル塗り	仕上：ビニル床タイル(撤去)	ビニル製(撤去)	100	_____	下地：コンクリート打放し	仕上：モルタル塗り+NAD(一部撤去)	_____	下地：LGS	仕上：石綿ケイ酸カルシウム板 厚6.0+NAD(撤去)	2.300		
		改修後	下地：モルタル塗り(既設のまま)	仕上：ビニル床シート t=2.5(新設)	ビニル製(新設)	100	_____	下地：モルタル塗り(一部新設)	仕上：NAD(新設)	塩ビ製	下地：LGS(既設のまま)	仕上：ケイ酸板 厚6.0+NAD(新設)			
	荷さばき場	改修前	下地：コンクリート打放し	仕上：モルタル塗り	モルタル製(撤去)	100	_____	下地：コンクリート打放し	仕上：モルタル塗り(一部撤去)	_____	下地：LGS	仕上：石綿ケイ酸カルシウム板 厚6.0+NAD(撤去)	2.300		
		改修後	下地：コンクリート打放し(既設のまま)	仕上：モルタル塗り(既設のまま)	モルタル製(新設)	100	_____	下地：モルタル塗り(一部新設)	仕上：NAD(新設)	塩ビ製	下地：LGS(既設のまま)	仕上：ケイ酸板 厚6.0+NAD(新設)			
	昇降口	改修前	下地：コンクリート打放し	仕上：モルタル塗り	モルタル製	100	下地：コンクリート打放し 仕上：外装薄塗材E(一部撤去) H=1,200	_____	_____	_____	下地：LGS	仕上：石綿ケイ酸カルシウム板 厚6.0+NAD	3.450		ガラスケース/コ 4000x600 6ヶ所 靴拭マット ゴム製 マット枠ステンレス
		改修後	下地：コンクリート打放し(既設のまま)	仕上：モルタル塗り(既設のまま)	モルタル製(既設のまま)	100	下地：コンクリート打放し(既設のまま) 仕上：外装薄塗材E(一部新設) H=1,200	_____	_____	塩ビ製	下地：LGS(既設のまま)	仕上：石綿ケイ酸カルシウム板 厚6.0+NAD(既設のまま)			
	渡り廊下	改修前	下地：コンクリート打放し	仕上：モルタル塗り	モルタル製	100	_____	_____	_____	_____	下地：コンクリート打放し(一部撤去)	仕上：外装薄塗材E(一部撤去)	_____		
		改修後	下地：コンクリート打放し(既設のまま)	仕上：モルタル塗り(既設のまま)	モルタル製(既設のまま)	100	_____	_____	_____	_____	下地：コンクリート打放し(一部新設)	仕上：外装薄塗材E(一部新設)			
	2階	配膳室	改修前	下地：モルタル塗り	仕上：ビニル床タイル(撤去)	ビニル製(撤去)	100	_____	下地：コンクリート打放し	仕上：モルタル塗り+NAD(一部撤去)	_____	下地：LGS	仕上：石綿ケイ酸カルシウム板 厚6.0+NAD(撤去)		2.300
			改修後	下地：モルタル塗り(既設のまま)	仕上：ビニル床シート t=2.5(新設)	ビニル製(新設)	100	_____	下地：モルタル塗り(一部新設)	仕上：NAD(新設)	塩ビ製	下地：LGS(既設のまま)	仕上：ケイ酸板 厚6.0+NAD(新設)		
渡り廊下		改修前	下地：コンクリート打放し(一部撤去)	仕上：モルタル塗り(一部撤去)	モルタル製(一部撤去)	100	下地：コンクリート打放し(一部撤去) 仕上：外装薄塗材E(一部撤去) H=1,100	_____	_____	_____	下地：コンクリート打放し(一部撤去)	仕上：外装薄塗材E(一部撤去)	_____		
		改修後	下地：コンクリート打放し	仕上：モルタル塗り(一部新設)	モルタル製(一部新設)	100	下地：コンクリート打放し(一部新設) 仕上：外装薄塗材E(一部新設) H=1,100	_____	_____	_____	下地：コンクリート打放し(一部新設)	仕上：外装薄塗材E(一部新設)			
3階	配膳室	改修前	下地：モルタル塗り	仕上：ビニル床タイル(撤去)	ビニル製(撤去)	100	_____	下地：コンクリート打放し	仕上：モルタル塗り+NAD(一部撤去)	_____	下地：LGS	仕上：石綿ケイ酸カルシウム板 厚6.0+NAD(撤去)	2.300	ダクト型 300kg 25m/min 【カ】内法寸法1000x1000	
		改修後	下地：モルタル塗り(既設のまま)	仕上：ビニル床シート t=2.5(新設)	ビニル製(新設)	100	_____	下地：コンクリート打放し(既設のまま)	仕上：モルタル塗り+NAD(一部新設)	塩ビ製	下地：LGS(既設のまま)	仕上：ケイ酸板 厚6.0+NAD(新設)			
	渡り廊下	改修前	下地：コンクリート打放し	仕上：モルタル塗り(一部撤去)	モルタル製(一部撤去)	100	下地：コンクリート打放し(一部撤去) 仕上：外装薄塗材E(一部撤去) H=1,100	_____	_____	_____	下地：コンクリート打放し(一部撤去)	仕上：外装薄塗材E(一部撤去)	_____		
		改修後	下地：コンクリート打放し(既設のまま)	仕上：モルタル塗り(一部新設)	モルタル製(一部新設)	100	下地：コンクリート打放し(一部新設) 仕上：外装薄塗材E(一部新設) H=1,100	_____	_____	_____	下地：コンクリート打放し(一部新設)	仕上：外装薄塗材E(一部新設)			

※本工事で使用する材料(接着材含む)はMM7R7'HD'等人体に有害な成分を基準値以下とする。(原則F☆☆☆☆)	A2版：100%	 株式会社 村田相互設計 MURATA SOGO ARCHITECT & ASSOCIATES.	一級建築士事務所	一級建築士 第116837号	平成21年度小学校大規模改造事業	図面No. 建築 07
※床仕上げ改修部分は下地処理材(※リマセメントモルタル等)で全面下地補修を行い、平滑にする。	A3版：71%		広島県知事登録 09(1)第1573号	向井良憲	原小学校配膳室棟⑨耐震補強工事	
※特記なき限り塗装下地調整はRB種とする。	A4版：50%		福岡県知事登録 第1-55229号	承認	縮尺	
			山口県知事登録 第2268号		仕上表 2	



凡例	A 2版 : 100%
----- 既設のままを示す	A 3版 : 71%
▲ スリット(幅50)新設を示す	A 4版 : 50%



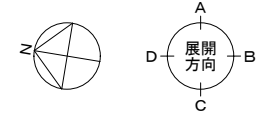
株式会社 村田相互設計
MURATA SOGO ARCHITECT & ASSOCIATES.

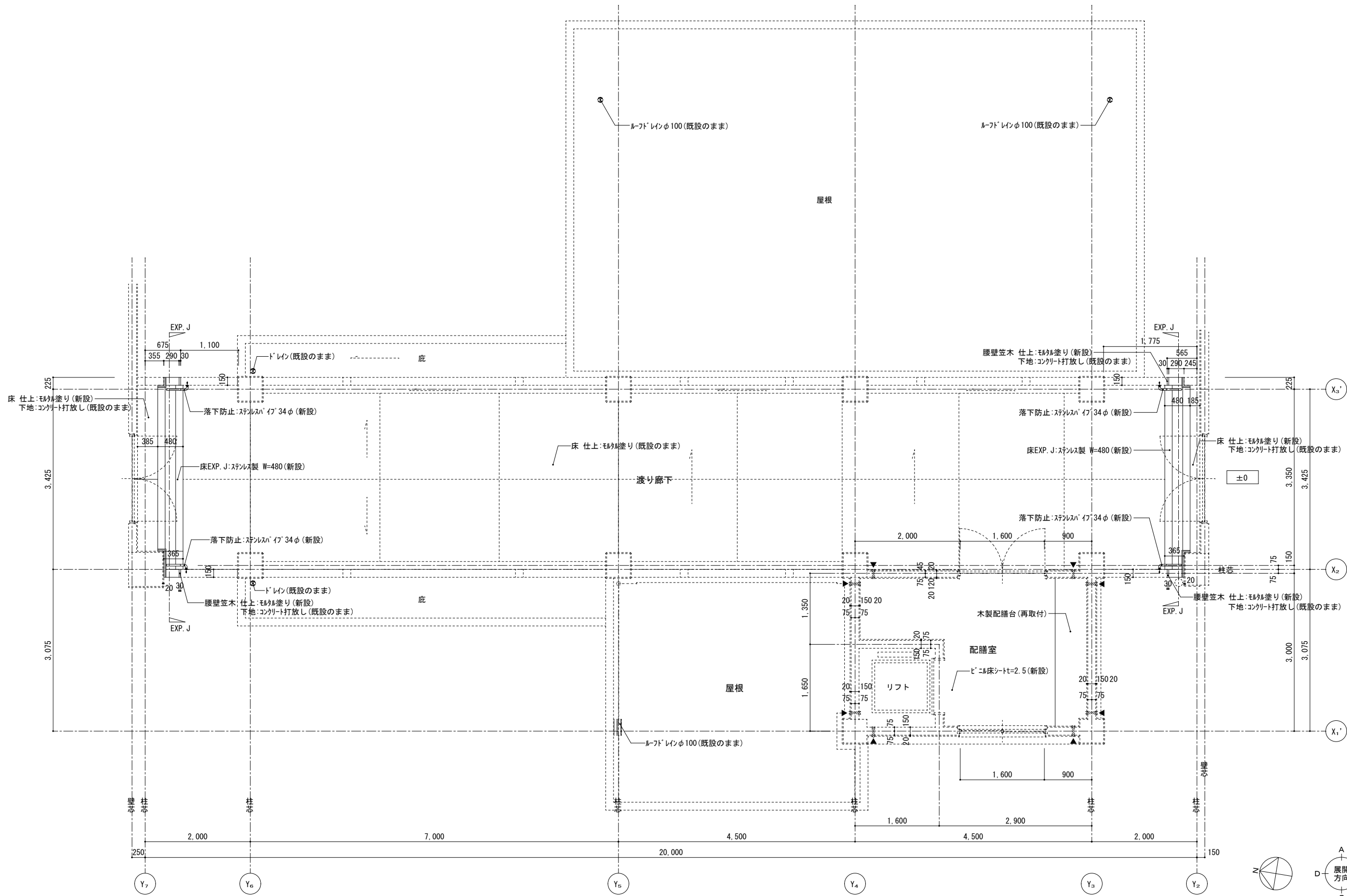
一級建築士事務所
広島県知事登録 09(1)第 1573号
福岡県知事登録 第1-55229号
山口県知事登録 第 2268号

一級建築士 第116837号
向井良憲
承認

平成21年度小学校大規模改造事業
原小学校配膳室棟⑨耐震補強工事
改修後 1階平面詳細図

図面 No. 建築
縮尺 1/50
09





凡例	A 2 版 : 100%
----- 既設のままを示す	A 3 版 : 71%
▲ スリット(幅50)新設を示す	A 4 版 : 50%



株式会社 村田相互設計
MURATA SOGO ARCHITECT & ASSOCIATES.

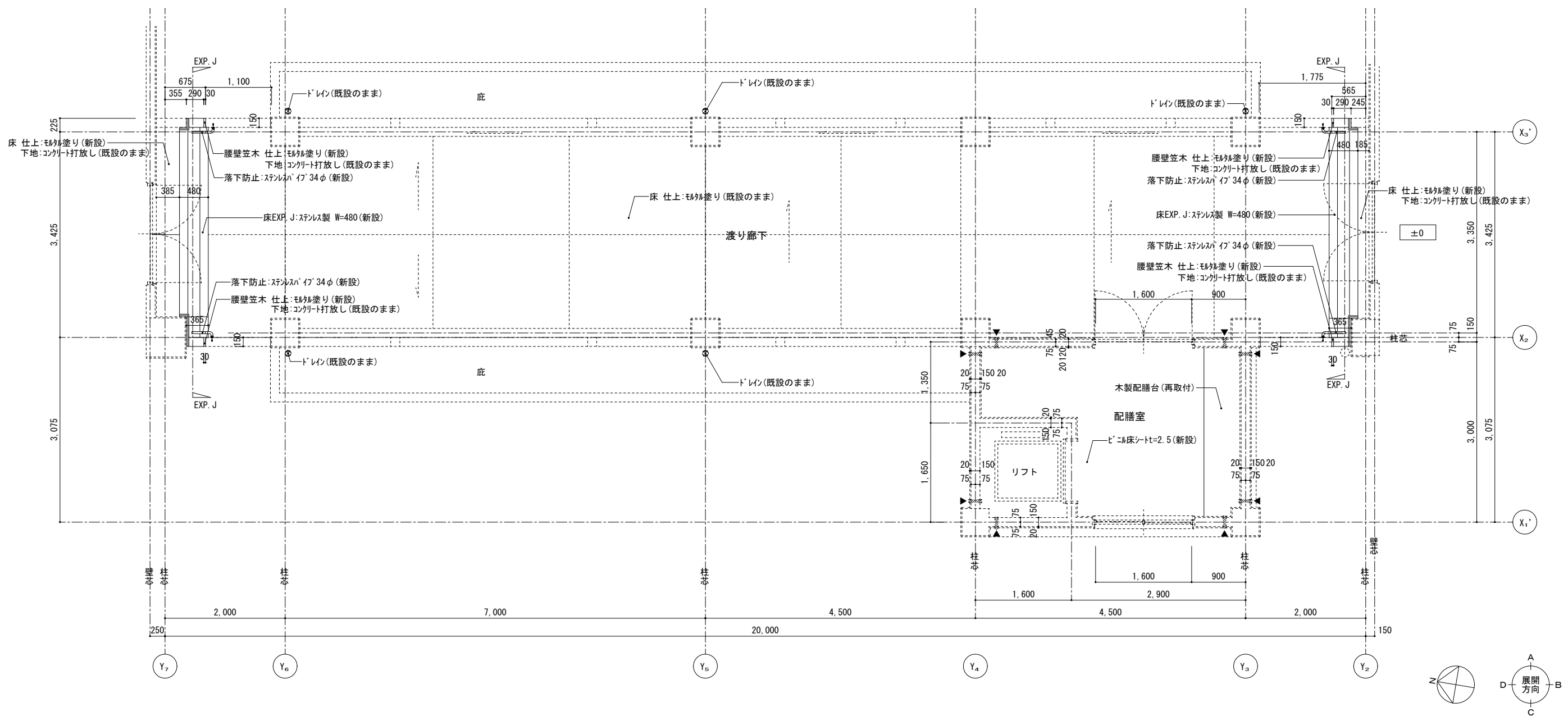
一級建築士事務所
広島県知事登録 09(1)第 1573号
福岡県知事登録 第1-55229号
山口県知事登録 第 2268号

一級建築士 第116837号
向井 良 憲
承認

平成21年度小学校大規模改造事業
原小学校配膳室棟⑨耐震補強工事
改修後 2階平面詳細図

縮尺
1/50

図面 No.
建築
11



凡例	A 2版: 100%
----- 既設のまます	A 3版: 71%
▼ スリット(幅50)新設を示す	A 4版: 50%



株式会社 村田相互設計
MURATA SOGO ARCHITECT & ASSOCIATES.

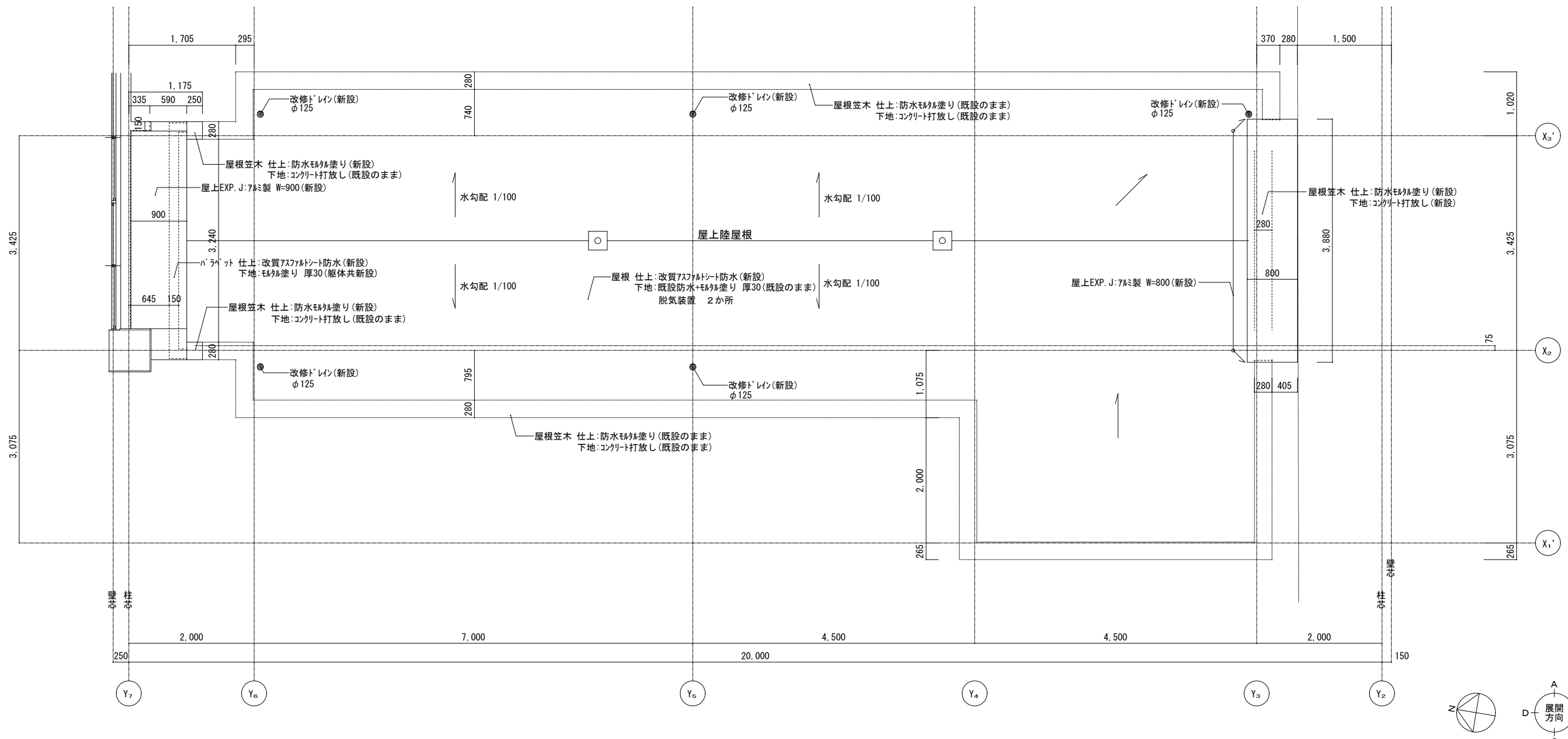
一級建築士事務所
広島県知事登録 09(1)第 1573号
福岡県知事登録 第1-55229号
山口県知事登録 第 2268号

一級建築士 第116837号
向井良憲
承認

平成21年度小学校大規模改修事業
原小学校配膳室棟⑨耐震補強工事
改修後 3階平面詳細図

縮尺
1/50

図面 No.
建築
13



凡例	A 2 版 : 100%
—— 既設のままを示す	A 3 版 : 71%
	A 4 版 : 50%



株式会社 村田相互設計
MURATA SOGO ARCHITECT & ASSOCIATES.

一級建築士事務所
広島県知事登録 09(1)第 1573号
福岡県知事登録 第1-55229号
山口県知事登録 第 2268号

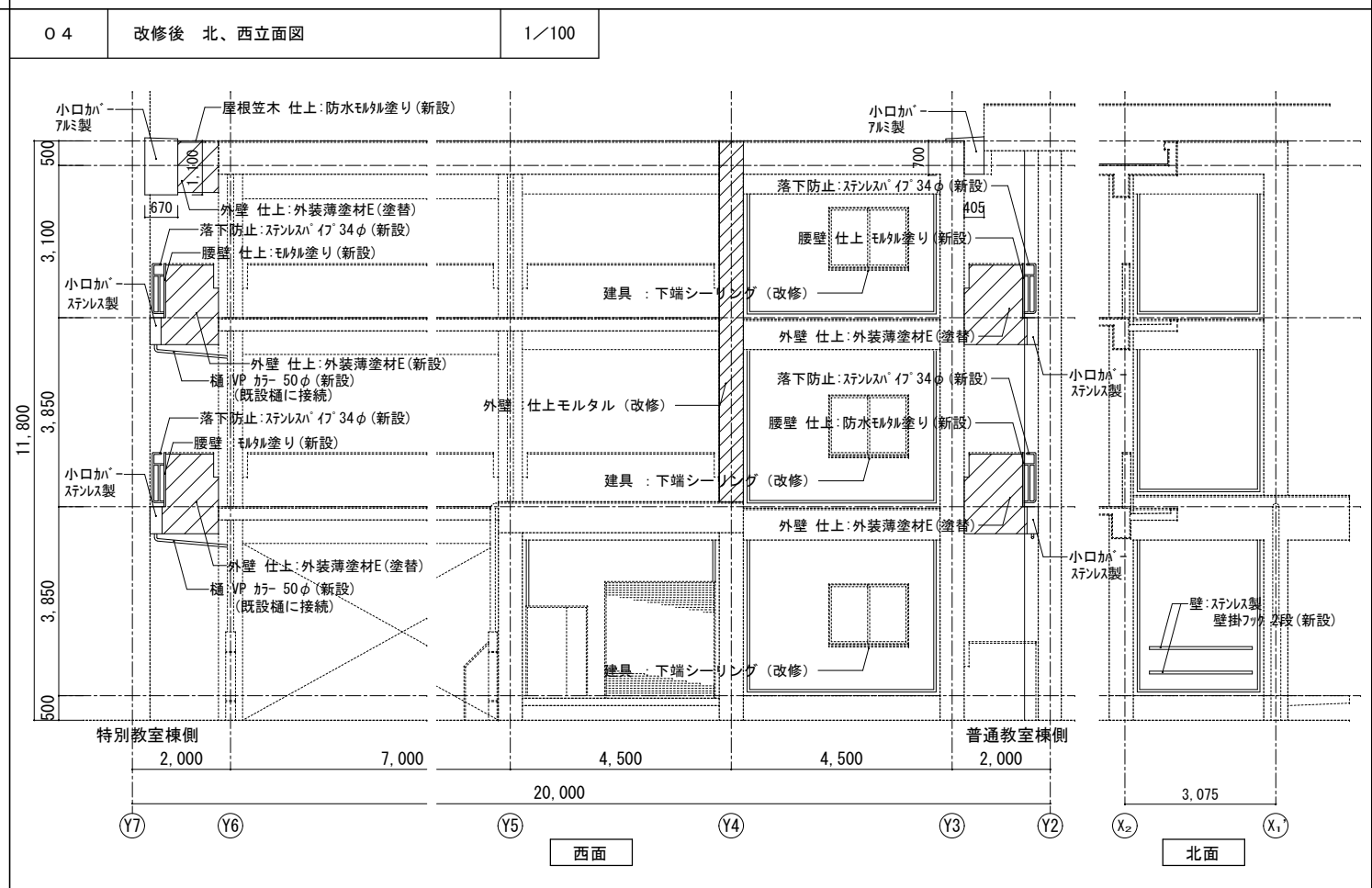
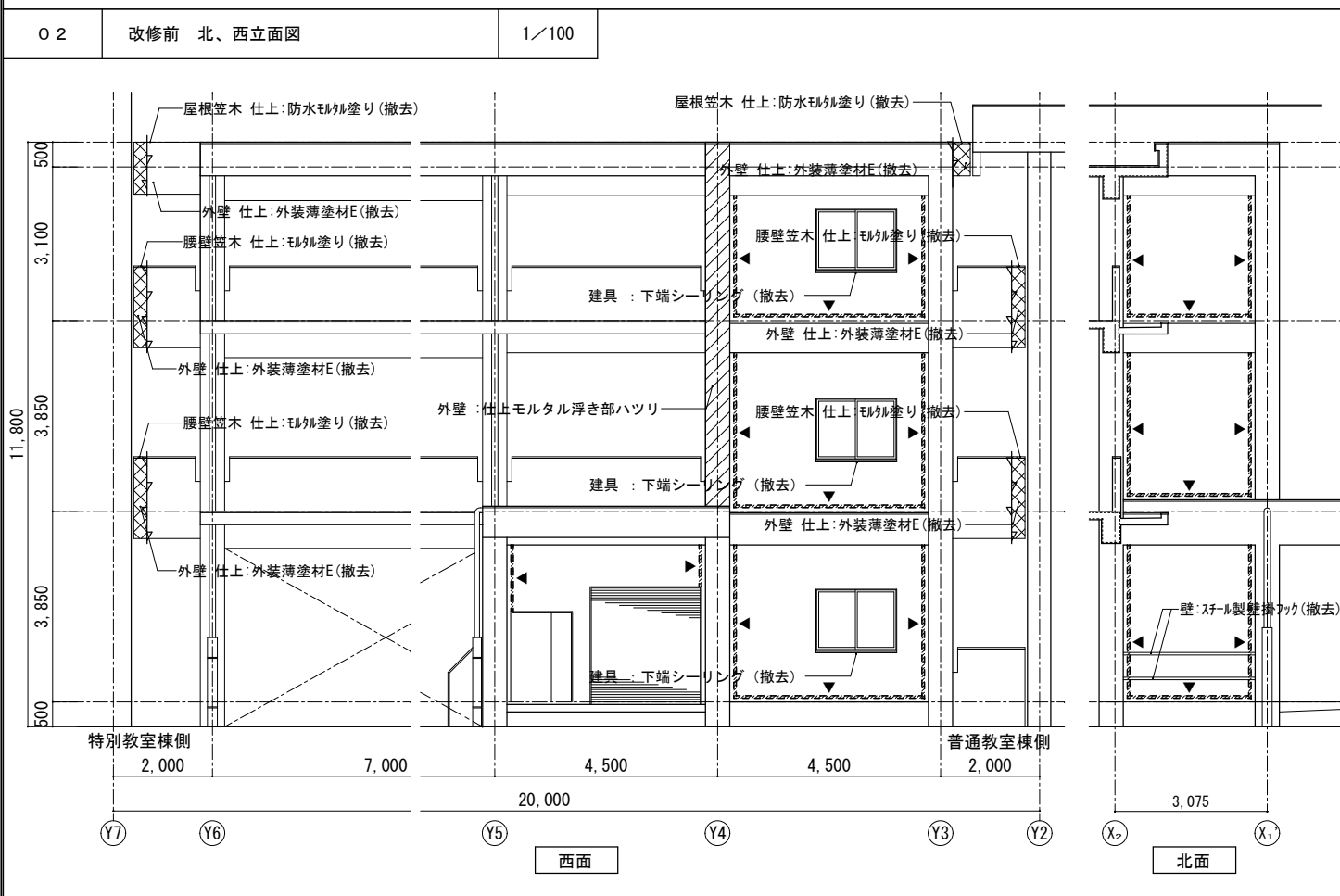
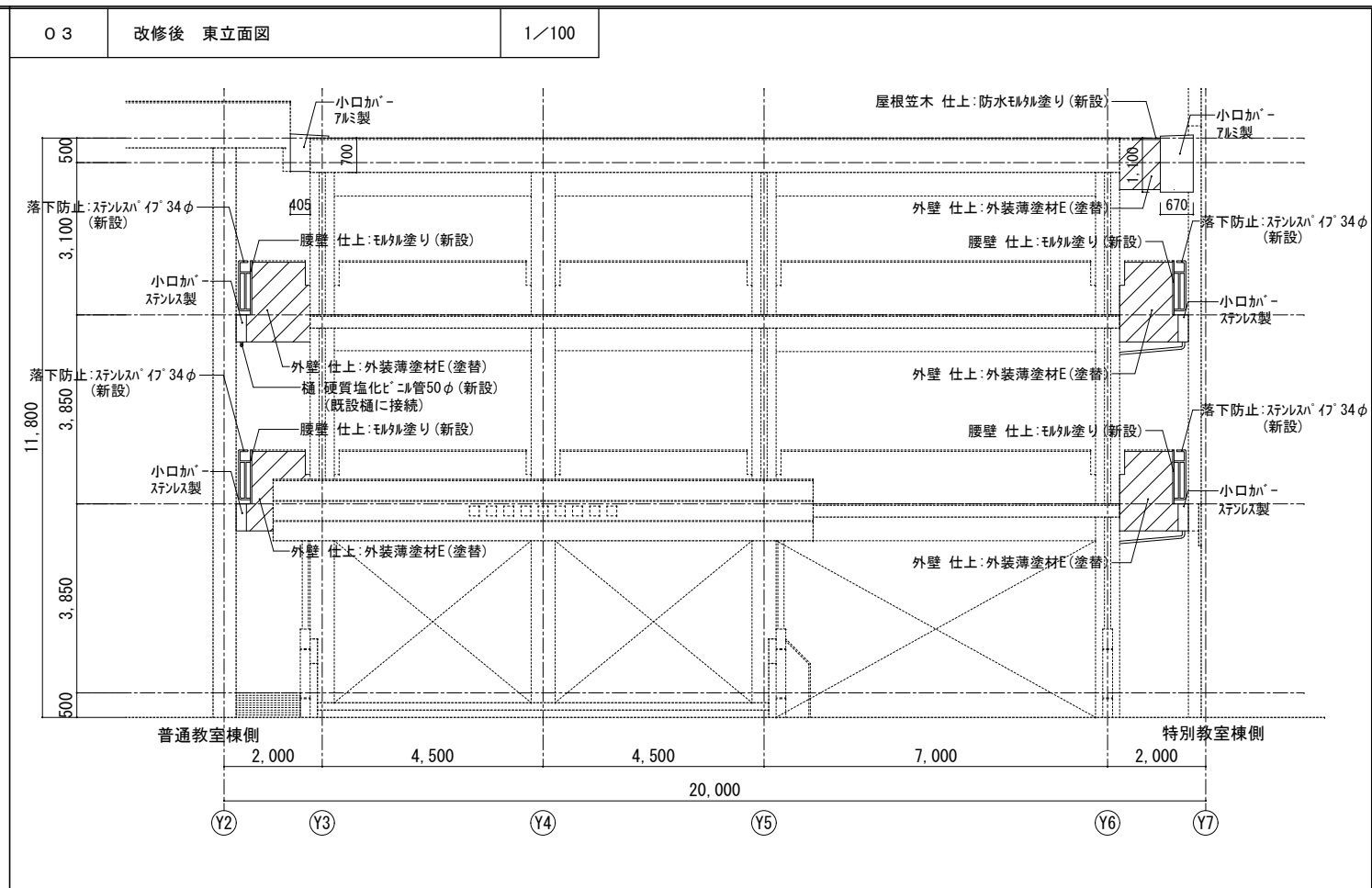
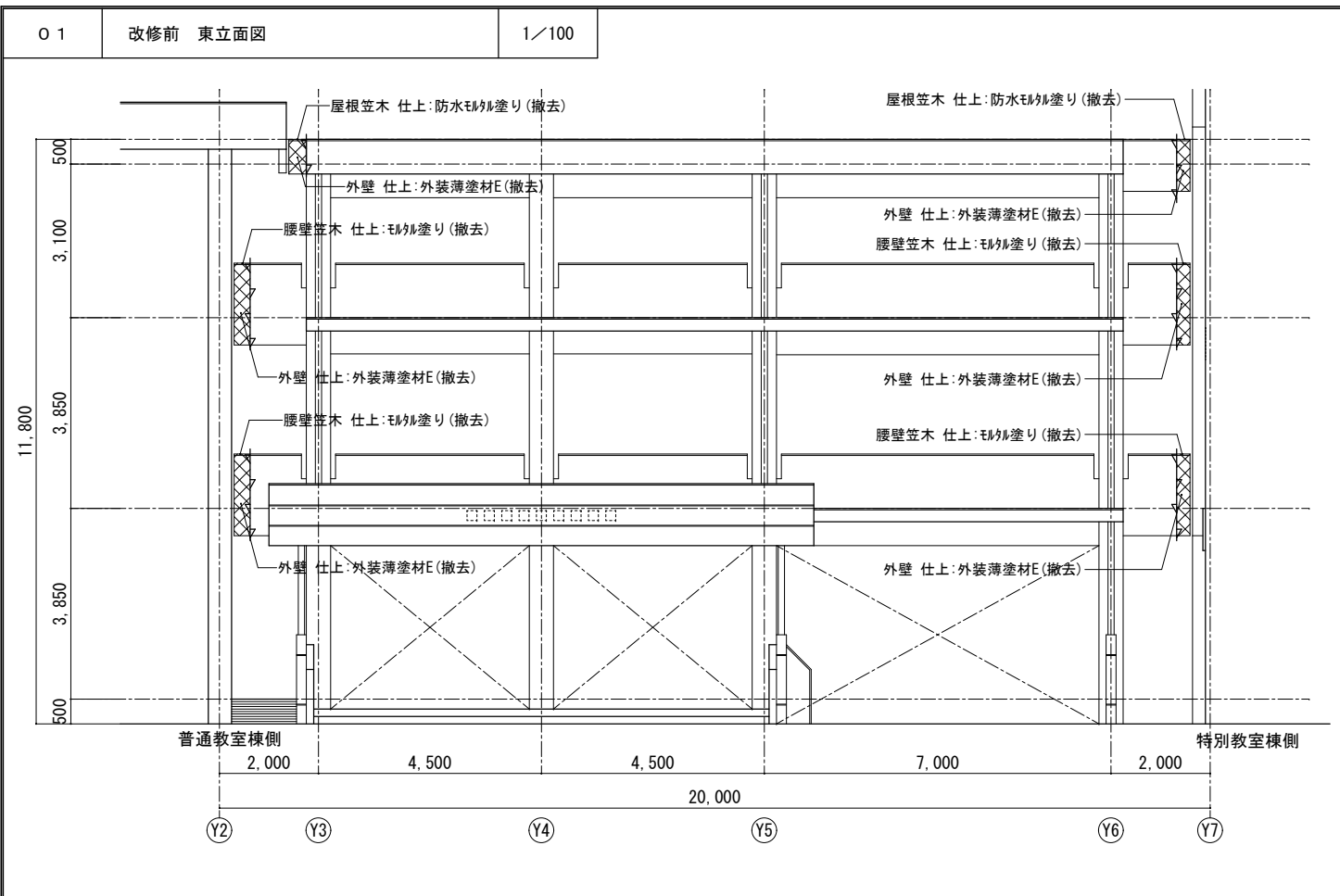
一級建築士 第116837号
向井良憲
承認

平成21年度小学校大規模改造事業
原小学校配膳室棟⑨耐震補強工事

改修後 屋上階平面詳細図

縮尺
1/50

図面 No.
建築
15



凡例	A 2版: 100%
----- 既設のままを示す	A 3版: 71%
XXXX 撤去部分を示す	A 4版: 50%
▲▲▲▲ 天井新設を示す	
↖ ↗ カッター切りを示す	

<p>株式会社 村田相互設計 MURATA SOGO ARCHITECT & ASSOCIATES.</p>	<p>一級建築士事務所 広島県知事登録 09(1)第 1573号 福岡県知事登録 第1-55229号 山口県知事登録 第 2268号</p>	<p>一級建築士 第116837号 向井良憲 承認</p>	<p>平成21年度小学校大規模改修事業 原小学校配膳室棟⑨耐震補強工事</p>	<p>図面 No. 建築</p>
	<p>改修前後 東西北立面図</p>			<p>縮尺 1/100</p>